

令和8年度 新規

# 緊急防災工事計画書

農村地域防災減災事業  
(防災重点農業用ため池緊急整備事業)

いけぐん はぎまがわ き  
ため池群萩間川3期地区

事業主体	静岡県
------	-----

	目	次
第1章 目 的	1	6. 級地別土地利用区分 16
第2章 地域及び地積	1	7. 土地配分計画 17
第1節 地 域	1	第3節 用水計画 17
第2節 地 積	1	1. 計画基準年 17
第3章 現 況	2	2. 計画かんがい方式 17
第1節 気象及び海象	2	3. 計画用水系統 17
1. 一般気象	2	4. 計画用水量 17
2. 特殊気象	2	5. 水源計画 18
3. 海 象	3	第4節 排水計画 21
第2節 土地状況	3	1. 計画基準雨量 21
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3	2. 計画排水方式 21
2. 土地分類	4	3. 計画排水系統 21
3. 土地利用の状況	4	4. 計画排水量 21
4. 土地所有の状況	5	5. 排水対策 21
第3節 水利状況	5	6. 湛水検討 22
1. 用水状況	5	第5節 道路計画 22
2. 排水状況	7	1. 道路及び索道 22
3. 河川状況	9	2. 路線配置図 22
第4節 道路現況	9	第6節 農用地造成計画 23
1. 道路概況	9	1. 農用地造成計画 23
2. 主要道路一覧表	9	2. 土壌改良 23
第5節 地域農業の概況	10	第7節 洪水調節計画 23
1. 産業別就業人口	10	1. 計画基準雨量 23
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	10	2. 計画洪水量及び調節量 23
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	11	3. 貯水池 23
4. 主要作物作付状況	12	4. 洪水調節検討 23
5. 農業の動向	13	5. 管理計画 24
第6節 地域環境の概況	13	第8節 干拓計画 24
第4章 一般計画	14	第9節 農用地整備計画 24
第1節 事業計画の要旨	14	1. 区画整理 24
1. 要 旨	14	2. 暗渠排水 24
2. 事業別面積	14	3. 客 土 25
第2節 営農計画及び土地利用計画	14	4. 農地保全 25
1. 営農計画の概要	14	第10節 老朽ため池改修計画 26
2. 土地利用区分	14	1. 洪水吐改修計画 26
3. 作付方式	15	2. 堤体補強計画 26
4. 生産計画	15	3. 取水施設改修計画 26
5. 労働改善計画	16	第5章 主要工事計画 27
		第1節 用水施設 27
		1. 貯水池 27
		2. 頭首工 28

3. 揚水機	28	第3節 換地計画樹立の基本方針	39
4. 用水路	28	1. 従前の土地の面積の基準	39
5. その他かんがい施設	28	2. 用途別予定地籍	40
第2節 排水施設	29	3. 農用地集団化の方針	40
1. 排水水門	29	4. 非農用地の換地方法	40
2. 排水機	29	第4節 土地の評価及び精算の方法	41
3. 排水路	29	1. 評価の方法	41
4. その他排水施設	29	2. 精算の方法	41
第3節 道路及び索道	30	第5節 換地計画樹立の年度計画	41
1. 道路	30	第6節 換地処分の特則	41
2. 索道	30	第10章 事業費の総額及び内訳	42
第4節 農用地造成	30	第11章 効用	43
1. 農用地造成	30	第12章 関連する事業	43
2. 土壌改良	31	第13章 現況・計画図面	43
第5節 洪水調節施設	32	1. 計画一般図	44
1. 貯水池	32	2. 計画平面図・標準断面図・仮設平面図	45
2. 頭首工及び導水施設	32	3. 土地利用計画図	64
第6節 干拓施設	32		
1. 堤防	32		
2. 潮止め	32		
3. 付属施設	33		
4. 埋立	33		
第7節 農用地整備施設	33		
1. 区画整理	33		
2. 暗渠排水	34		
3. 客土	34		
4. 除礫	34		
5. 農地保全	35		
第8節 老朽ため池改修施設	36		
1. 貯水池	36		
2. 堤体補強施設	37		
第6章 附帯工事計画	37		
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	37		
第8章 環境との調和への配慮	38		
第9章 換地計画の概要	39		
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	39		
第2節 換地区の設定	39		
1. 換地区の名称, 所在, 面積	39		
2. 換地区を設定する理由	39		

## 第1章 目 的

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時には、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は、全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくないほか、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地 域 (第1表)

事業名	地 域
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	牧之原市 大沢地内ほか

### 第2節 地 積 (令和7年12月 現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	( ha )						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	牧之原市	9.9	2.3				12.2	大沢池、西側上池、西側池、雨垂池、時ヶ谷池、山の神池
								(ため池群萩間川3期地区)
合 計		9.9	2.3	-	-	-	12.2	

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(気象庁HP「過去の気象データ」より)

観測所名	静岡地方気象台	かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	年間 合計/平均	備考
観測期間	1985～2021				
平均気温		22.4 ℃	11.6 ℃	16.8 ℃	
降水量	平均	1499.2 mm	834.8 mm	2334.0 mm	
	基準年				
降水日数 (1.0mm以上)	平均	67日(月平均 11日)	44日(月平均 7日)	111日(月平均 9日)	
	基準年				
無霜期間(平年値)					
最多風向		NE	最大瞬間風速 33.7m/s(SW)		最多風速:1985～2021(16方位) 最大風速:1985～2021(16方位)

##### 2. 特殊気象

観測所名	静岡地方気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
観測期間	S25～R3															
最大時間雨量	(mm)	111.5	H15.7.4 1	1/407	83.5	H3.9.14 2	1/42	81.5	H16.6.30 9	1/35	76.0	S49.7.7 22	1/23	73.5	S62.8.6 3	1/18
最大4時間連続雨量	(mm)	283.5	H15.7.4 0～3	1/688	253.5	S49.7.7 22～25	1/258	189.0	H16.6.30 7～10	1/31	162.4	S29.9.18 18～21	1/13	161.0	S58.6.24 3～6	1/13
最大日雨量	(mm)	401.0	R1.10.12	1/142	368.0	H16.6.30	1/80	318.0	H14.7.10	1/33	297.5	S57.9.12	1/23	288.5	H13.9.10	1/20
最大連続雨量	(mm)	508.0	S49.7.7 ～7.8	1/92	497.0	S57.9.10 ～9.12	1/81	414.0	R1.10.11 ～10.12	1/30	368.0	H16.6.30 ～6.30.14	1/17	363.5	H26.10.5.1 ～10.6	1/16
最大連続干天日数	(日)	55.0	H17.11.7 ～12.31	1/163	51.0	S.48.11.11 ～12.31	1/87	44.0	S61.1.5 ～2.17	1/29	41.0	H23.1.1 ～2.10	1/18	40.0	S37.1.2 ～2.10	1/16
三日連続雨量	(mm)	518.0	S49.7.6 ～8	1/92	497.0	S57.9.10 ～12	1/70	463.0	H15.8.14 ～16	1/45	414.0	R1.10.11 ～13	1/24	398.0	S58.8.15 ～17	1/20

3. 海 象

※該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低位 (m)	備考
観測期間	年～年								
実測値									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考		
		1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計		最高	最低
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	面積 ha		9.9				9.9	2.3							2.3	70.7	3.6	
	比率 %		100				100	100						100				
	面積 ha																	
	比率 %																	
合計	面積 ha		9.9				9.9	2.3						2.3				
	比率 %		100				100	100						100				

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 ( 区 ) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壤 断 面								堆積様式	母 材	事 業 名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性						泥炭層, 黒泥層及びグライ層	農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	計	
					表土	下 層 土								
				一層	二層	三層	・・・							
上土方統	灰	あり	あり	なし	CL	CL	SiL		-	-		12.2	12.2	
掛川3統	黒褐	あり	あり	なし	CL	LiC	LiC		-	-				
萩間統	灰	あり	あり	なし	LiC	LiC	LiC		-	-				
計												12.2	12.2	

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 蝕 の 程 度		備 考
		0	0~ 25%	25~ 50%	50% 以上	0	3mm 未 満	3~ 5mm	5mm 以 上	中 程 度 の も の	大 々 々 の も の	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

※該当なし

(第4表-2-1)

級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
※		3° ~8°	8° ~12°	12° ~15°	※	15° ~20°	20° ~25°	25° ~30°	※	30° 以上			
市町村名													
計													※は傾斜以外の 要因によるもの

※該当なし

(第4表-2-2)

級地別	干				拓	計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			
市町村名							
計							

3. 土地利用の状況

(令和7年12月 現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶 園 (ha)	その他 の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域防災 減災事業 (防災重点農業 用ため池緊急整 備事業)	牧之原市	9.9	2.3									12.2	(ため池群萩間川3期地区)	
												-		
												-		
	合 計	9.9	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	12.2		

4. 土地所有の状況

(令和7年12月 現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考
	区分							
農村地域防災 減災事業 (防災重点農業用 ため池緊急整備事 業)	面積 (ha)		12.2				12.2	
	受益者数 (人)						-	
	筆数 (筆)						-	
	権利関係		なし				-	
	備考 (関係戸数)						-	
合計	面積 (ha)		12.2				12.2	
	受益者数 (人)						-	
	筆数 (筆)		-				-	
	権利関係		なし				-	
	備考 (関係戸数)						-	

第3節 水利状況

1. 用水状況

現況と同じ

(1) 用水系統

現況と同じ

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量 m <sup>3</sup> /S	備考
		10ha 以上		5~10 ha		5ha 未満		箇所	ha	箇所	m3/S	箇所	m3/S		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災 減災事業 (防災重点農業用 ため池緊急整備事 業)	貯水池	6	12.2					6	12.2						ため池群萩間川3期地区
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
合計		6	12.2	-	0.0	-	0.0	6	12.2						

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模		新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考	
					堤長	堤高				
農村地域防災減災事業 (防災重点農業 用ため池緊急整 備事業)	貯水池	大沢池	0.7	傾斜遮水ゾーン型	堤長 63.00m	堤高 13.20m	H7	耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす状況である。 また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。		
		西側上池	1.0	傾斜遮水ゾーン型	堤長 29.00m	堤高 5.20m	S61			
		西側池	1.5	均一型	堤長 35.00m	堤高 6.93m	S47			
		雨垂池	4.0	均一型	堤長 61.00m	堤高 3.80m	明治時代			
		時ヶ谷池	2.5	傾斜遮水ゾーン型	堤長 48.00m	堤高 10.40m	S59			
		山の神池	2.5	傾斜遮水ゾーン型	堤長 35.3m	堤高 4.00m	H6			
	井堰									
	自然取入口									
	揚水池									
	用水路 その他									
合計			12.2							

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均 減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m <sup>3</sup> /S)	基準年 (m <sup>3</sup> /S)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
合計										

(イ) その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	13.2	1.1	23.2	37.5	23,854	-	272,732	-	1,094,601	1,391,187	
合計	13.2	1.1	23.2	37.5	23,854	-	272,732	-	1,094,601	1,391,187	

2. 排水状況

※該当なし

(1)排水系統

※該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha 以上		500ha~100ha		100ha 未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	合計												

(イ)改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3)排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考	
					湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
合計		0.0	平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1)河川の状況

※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量	備考
				(m <sup>3</sup> /S)	(m <sup>3</sup> /S)	

(2)洪水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地	農用施設	作物	公共施設	備考
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

※該当なし

2. 主要道路一覧表

※該当なし

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	道熱電 供気 給ガ 業水ス (人)	運通 信 輸業 (人)	飲卸 食小 売店 業 (人)	金保 険 融業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 業 (人)	そ の 他 (人)	備 考
牧之原市	23,875	2,501	4	137	24	1,734	8,064	90	1,276	3,609	262	204	5,159	521	290	令和2年 国勢調査
計	23,875	2,501	4	137	24	1,734	8,064	90	1,276	3,609	262	204	5,159	521	290	
比率(%)	100.0	10.475		0.6911		7.263	33.776	0.377	5.345	15.116	1.097	0.854	21.608	2.182	1.215	



2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

項目 市町村名	農家 総戸 数	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家戸数 (戸)			備 考	
		例 外 規 定 の 適 用 を 受 け る も の	0.3 ha ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha ~ 以上	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 り 団 地 数	団 地 当 り 面 積	専 業	兼 業			
																						第 1 種	第 2 種		
牧之原市	1,641	119	158	223	131	75	164	151	66	19	9	526	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			1,061	—	—	2020年 農 林 業 セ ン サ ス (R2)	
計	1,641	119	158	223	131	75	164	151	66	19	9	526	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			1,061	0	0		
比率(%)	100.0	7.3	9.6	13.6	8.0	4.6	10.0	9.2	4.0	1.2	0.5	32.1	14.3	7.1	78.6	100.0	0.0	100.0			100.00	0.00	0.00		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)									
牧之原市	523	495	420	412	224	219					0	0	0	2	5,438	9	6	3	2020年農林業センサス(R2)
																			※動力農機具について未掲載のため 2015年を記載
計	523	495	420	412	224	219					0	0	0	2	5,438	9	6	3	
100戸当たり数量(台)	106		102		102														台/戸数
利用戸数割合(%)	30.2		25.1		13.3						0.0		0.1		0.5		0.2		戸数/農林業経営体数×100

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 名		牧之原市				計	平均	作付率 (%)	備 考
総耕地 面積 (ha)		2,409				2,409	2,409		
総本地 面積 (ha)		2,350				2,350	2,350		
区 分 作物名		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)		
田	表作	水稻	499	546		499	546	21%	総耕地面積 ・2020年農林業センサス (R2) 作付面積・単位面積当たり収量 総本地面積の算定 ・本地面積 / 総面積 (牧之原市) $3,648 / 3,740 = 0.9754$ ・総耕地面積 × 0.9754 = 総本地面積 本地面積記載最終年度 第37次 静岡農林統計年報 (H元) P28 参照
	裏作								
	小 計	499				499			
畑		だいこん	34	1,810		34	1,810	1%	
		冬レタス	126	3,310		126	3,310	5%	
		大豆	1	97		1	97	1%	
		小 計	161				161		
樹園地									
	小 計								
計		660				660		29%	
市町村別延べ作付率 (%)		29%							

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B (H27)	A (現在)		B (H27)	A (現在)	作物名	B (H27)	A (現在)	家畜名	B (H27)	A (現在)	農機具名	B (H27)	A (現在)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	89	67	耕地	90	78	水稲	97	93	乳用牛	0	0	動力田植機	70	70	A:現在 令和2年 (農林業センサス2020)  B:平成27年 (農林業センサス2015)  C:平成22年 (農林業センサス2010)	
	専業農家数	110	213	田	85	70	だいこん	88	85	肉用牛	0	0	トラクター	81	81		
	第一種兼業 農家数	65	-	畑	107	128	冬レタス	96	98	豚	159	134	コンバイン	90	90		
	第二種兼業 農家数	91	-	樹園地	90	77	大豆	75	25	採卵鶏	0	0					
	農 業 従事者数	55	76														
変化 の 理由	社会経済の発展や農業構造の発展が進み、他産業への就労機会の増大により総農家数が減少傾向にある。			基盤整備等による変化			営農形態の変化			生産環境の変化			農業経営の変化による				

第6節 地域環境の概況

市街地の背後に位置する森林は、木材の供給はもとより、土砂流出などの国土の保全や野生鳥獣の生息地になっているとともに、市街地への新鮮な大気の供給などの公益的機能を持ち、その大切さが認識されてきている。

しかし、市街地の周辺においては、都市的な土地利用への転換に伴って樹林地が徐々に減少しつつあり、また、地権者の高齢化や薪炭林としての利用価値が失われたことなどにより管理が放置され、荒廃した樹林地が多くなっている。荒廃した樹林地は、樹木が密生してうっそうとし、人が近づきにくい環境であるとともに、様々な機能を持った森林空間としての存在価値も著しく低下していると考えられる。

このようなことから、本市の市街地を取り巻くまとまった森林は、都市的な発展と調和させ、保全・活用を図るための方策を検討し、自然環境との共存共生システムを次世代へと受け継いでいくことが重要である。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時には、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業						ため池整備事業						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
ため池改修	2.1	0.4				2.5							2.5	大沢池
	0.7	0.3				1.0							1.0	西側上池
	0.6	0.9				1.5							1.5	西側池
	2.2	0.3				2.5							2.5	雨垂池
	3.5	0.4				3.9							3.9	時ヶ谷池
	0.8					0.8							0.8	山の神池
計	9.9	2.3				12.2							12.2	

### 第2節 営農計画及び土地利用計画

#### 1. 営農計画の概要

※該当なし

#### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)											
農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	現況	9.9	2.3					12.2				12.2	大沢池、西側上池、西側池、雨垂池、時ヶ谷池、山の神池
	計画	9.9	2.3					12.2				12.2	
計	現況	9.9	2.3					12.2				12.2	
	計画	9.9	2.3					12.2				12.2	



5. 労働改善計画

※該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
				人 力					
				機 械					
					人 力				
					機 械				
					人 力				
					機 械				
					人 力				
					機 械				
	計		0.0						

6. 級地別土地利用区分

※該当なし

(第9表-5)

土地利用 区分	区分 級地名	農 用 地 造 成					干 拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地 (果樹園)											

7. 土地配分計画

※該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考	
		田	輪換耕地	畑						計
				普通畑	牧草畑	樹園地				

第3節 用水計画

- 1. 計画基準 ※該当なし

---

- 2. 計画かんがい方式 ※該当なし

---

- 3. 計画用水系統 ※該当なし

---

4. 計画用水量

(1)かんがい用水

※該当なし

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水 田 かん が い			畑地かんがい			田 畑 輪 換					消 費 水 量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗 用 水 量		備 考
		事業名	普通期	代 掻 期	面 積 (ha)	1 日 当 り 計 画 平 均 かん水深 (m3/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	水 田 かん が い		畑 地 かん が い					平均 最大 (m3/S)		
		農村地域 防災減災 事業 防災重点 農業用ため池緊急 整備事業	計画平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画代掻 単 位 用 水 量 (mm/日)					普通期	代 掻 期	面 積 (ha)	1 日 当 り 計 画 平 均 かん水深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)				面 積 (ha)	
			計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計 画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm/日)	計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計 画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm)												

(2) 営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

※該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m3)	田畑面 利用可能量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水量 h=d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		

## (2) 用水対策

## (ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接	田	畑・その他	計					
大沢池	0.200	-	2.1	0.4	2.5	59.0			0.070	
西側上池	0.033	-	0.7	0.3	1.0	2.8			0.030	
西側池	0.008	-	0.6	0.9	1.5	3.0			0.020	
雨垂池	0.011	-	2.2	0.3	2.5	3.5			0.020	
時ヶ谷池	0.090	-	3.5	0.4	3.9	8.7			0.050	
山の神池	0.089	-	0.8	-	0.8	2.9			0.000	
計	0.431	-	9.9	2.3	12.2					

## (イ) 井堰及び自然取入口

## ※該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)		
			地区内	地区外	計				
								-	

## (ウ) 揚水機

## ※該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		地区内	地区外	計							

(エ)用水路

※該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最 大 通 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				

(オ)その他の水源

※該当なし

(3)水温水質

※該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 ※該当なし
- 2. 計画排水方式 ※該当なし
- 3. 計画排水系統 ※該当なし
- 4. 排水量

※該当なし

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	事業			山地	平地		山地	平地	山地	平地		山地	平地			
	農地	その他	計							自然排水	機械排水		山地	平地		
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門

※該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計						

(2) 排水機

※該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計						

(3)排水路

※該当なし (第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業						計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)		
		農地	その他	計							

(4)その他

6. たん水検討

※該当なし (第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m3/S)	既設排水能力 (m3/S)	必要排水能力 (m3/S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考	
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間		

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1)道路

※該当なし (第12表-1)

路線名	項目 幅員 (有効) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考

(2)索道

※該当なし (第12表-2)

路線名	項目 能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

※該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

※該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良

※該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積	土壌	pH		置換酸度 (V)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha 当り 所 要 量			備考
			H O	K C I			石 灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

※該当なし

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km <sup>2</sup> )	洪 水 到 達 時 間 (hr)	計 画 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	安 全 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	必 要 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 の 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 後 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	調 節 後 最 大 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	調 節 前 後 の 最 大 流 量 の 差 (m <sup>3</sup> /s)	最 大 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流 域 面 積		計 画 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	貯 水 量			計 画 調 節 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	可 能 調 節 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直 接 (km <sup>2</sup> )	間 接 (km <sup>2</sup> )		有 効 (千m <sup>3</sup> )	洪水調節容量 (千m <sup>3</sup> )	多 目 的 (千m <sup>3</sup> )			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

※該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

※該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第8節 干拓計画

※該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

※該当なし

(第16表-1)

長辺 × 短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (cm)	備考

(2) 表土扱い

※該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考

(3) 末端道水路配置図

※該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
			計						

(2)心土破碎

※該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			

3. 客土

※該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り 客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
	事業名				現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 [客土材料](%)	
			計		平均	平均	平均	平均				

4. 農地保全

(1)防災林

※該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	項目	最大風速	幅	間隔	備考
		(m/s)	(m)	(m)	

(2)排水工

※該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

※該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

大沢池:97.7mm/hr 西側上池:96.2mm/hr 西側池:166.1mm/hr 雨垂池:161.5mm/hr 時ヶ谷池:138.5mm/hr 山の神池:155.4mm/hr

(2) 計画洪水量

大沢池:5.21m<sup>3</sup>/s 西側上池:0.846m<sup>3</sup>/s 西側池:0.328m<sup>3</sup>/s  
 雨垂池:0.385m<sup>3</sup>/s 時ヶ谷池:2.742m<sup>3</sup>/s 山の神池:3.596m<sup>3</sup>/s

2. 堤体補強計画

大沢池 押さえ盛土により、下流側の耐震性を確保する。  
 西側上池 上下流斜面ともに、掘削置換え及び、中層混合処理にて改修を行う。  
 西側池 上下流斜面ともに改良土盛土を施工するかつ、下流側についてのみ基礎部の固化も併用することで耐震性を確保する。  
 雨垂池 押さえ盛土により、上流側の耐震性を確保する。  
 時ヶ谷池 上流側は改良土による堤体置換と基礎部の固化、下流側は押さえ盛土と基礎部の固化にて耐震性を確保する。  
 山の神池 盛土により、下流側の耐震性を確保する。

3. 取水施設改修計画

大沢池 斜樋ゲートの第1孔の孔径をφ150からφ300に変更する。  
 西側上池 底樋管のひび割れは充填工法にて補修を行い、導水管の継手開きについては管路更生工法により補修を行う。  
 西側池 緊急放流機能を有する斜樋と底樋を新設する。  
 雨垂池 緊急放流機能を有する斜樋と底樋を新設する。  
 時ヶ谷池 老朽化した斜樋の改修とともに緊急放流機能を付加する。また、底樋管を延長する。  
 山の神池 斜樋の改修とともに緊急放流機能を付加する。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称		ため池群萩間川3期		位置		牧之原市 大沢 地内				大沢池		
堤 体	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量			
	傾斜遮水 ゾーン型	0.200		14.10	61.1	39.10		59.0	59.0			
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s) 備 考		取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式 放流量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考		
		越流堰式	5.21						スライドバルブ巻上式		0.07	-
名称		ため池群萩間川3期		位置		牧之原市 白井 地内				西側上池		
堤 体	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量			
	傾斜遮水 ゾーン型	0.033		5.2	29.0	1.77		2.8	2.8			
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s) 備 考		取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式 放流量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考		
		水路流入 式	0.85						スライドバルブ巻上式		0.07	-
名称		ため池群萩間川3期		位置		牧之原市 白井 地内				西側池		
堤 体	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量			
	傾斜遮水 ゾーン型	0.008		7.3	41.2	5.25		1.5	1.5			
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s) 備 考		取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式 放流量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考		
		水路流入 式	0.33						スライドバルブ巻上式		0.005	-
名称		ため池群萩間川3期		位置		牧之原市 大江 地内				雨垂池		
堤 体	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量			
	傾斜遮水 ゾーン型	0.011		3.7	62.0	3.22		3.3	3.3			
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s) 備 考		取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式 放流量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考		
		水路流入 式	0.39						スライドバルブ巻上式		0.008	-
名称		ため池群萩間川3期		位置		牧之原市 菅ヶ谷 地内				時ヶ谷池		
堤 体	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量			
	表面遮水 壁型	0.090		10.4	48.0	15.40		8.7	8.7			
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s) 備 考		取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式 放流量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考		
		正面越流 堰式	2.74						スライドバルブ巻上式		0.016	-
名称		ため池群萩間川3期		位置		牧之原市 白井 地内				山の神池		
堤 体	型 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量			
	傾斜遮水 ゾーン型	0.089		4.8	34.2	1.95		2.9	2.9			
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s) 備 考		取 水 施 設	型 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	型 式 放流量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考		
		正面越流 堰式	3.60						ヒューム管		0.015	-

2. 頭首工

※該当なし

(第17表-2)

名称	型式	位置			取水水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
		堤体 (m)	堤長 (m)	計				
		固定部	可動部					

3. 揚水機

※該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力	台数(台)	

4. 用水路

※該当なし

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /S)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		総延長	開渠	その他				

5. その他のかんがい施設

※該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水水門

1. 排水水門

※該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位	外水位	排水量	備考
				(m)	(m)	(m <sup>3</sup> /S)	

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /S)	揚程 (m)			排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程		形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

※該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /S)	延長 (m)			構造	備考
	地区内	地区外	事業計		総延長	開水路	その他		

4. その他排水施設

※該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1)道路の総括表

※該当なし (第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員 (m) × 延長 (m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				

(2)道路主要構造物

※該当なし (第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

※該当なし (第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1)抜根

※該当なし (第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2)除礫

※該当なし (第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り平均除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3)開墾作業

※該当なし

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	造成工法			
	計			

(4)地目変換

※該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5)末端用水路等

※該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6)末端排水路等

※該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壤改良

※該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池 **※該当なし**

2. 頭首工及び導水路

(1)頭首工

**※該当なし**

(第21表-1)

名称	集水面積 (km <sup>2</sup> )		位置		計画洪水位 (m)	付帯施設備	備考
			堤長 (m)				
型式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	固定部	可動部	計		

(2)導水路

**※該当なし**

(第21表-2)

水路名	項目	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
			総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

**※該当なし**

(第22表-1)

項目	型式 (m)	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	
名称									

2. 潮止め

**※該当なし**

(第22表-2)

項目	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
名称							

3. 付属施設

※該当なし

4. 埋立

※該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

※該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m <sup>3</sup>	面積 (ha)	土量 千m <sup>3</sup>	

(2) 末端水路等

※該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

※該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
0.0																
計																

(2) 心土破碎

※該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土

※該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名	計						
計								

4. 除礫

※該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植 栽 本 数 (本)	備 考
計						

(2) 排水路

※該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延 長 (m)	流 量 (m <sup>3</sup> /s)	構 造	備 考
計				

(2) 侵食防止工

※該当なし

(第23表-9)

項目 名 称	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称		ため池群萩間川3期				位置		牧之原市 大沢 地内 大沢池		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備	考	
		遮水傾斜ゾーン型	0.200	14.1	61.1	39.10	4.9	59.0		
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備	考	
		越流堰式	5.21	0.70			スライドバルブ巻上式	0.070		

名称		ため池群萩間川3期				位置		牧之原市 白井 地内 西側上池		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備	考	
		遮水傾斜ゾーン型	0.033	5.2	29.0	1.8	3.1	2.8		
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備	考	
		水路流入式	0.85	0.45			スライドバルブ巻上式	0.070		

名称		ため池群萩間川3期				位置		牧之原市 白井 地内 西側池		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備	考	
		遮水傾斜ゾーン型	0.008	7.3	41.2	5.3	3.5	1.5		
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備	考	
		水路流入式	0.33	0.35			スライドバルブ巻上式	0.005		

名称		ため池群萩間川3期				位置		牧之原市 大江 地内 雨垂池		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備	考	
		遮水傾斜ゾーン型	0.011	3.7	62.0	3.2	3.0	3.3		
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備	考	
		水路流入式	0.39	0.35			スライドバルブ巻上式	0.008		

名称		ため池群萩間川3期				位置		牧之原市 菅ヶ谷 地内 時ヶ谷池		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備	考	
		表面遮水壁型	0.090	10.4	48.0	15.40	3.5	8.7		
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備	考	
		正面越流堰式	2.74	0.53			スライドバルブ巻上式	0.016		

名称		ため池群萩間川3期				位置		牧之原市 白井 地内 山の神池		
堤 体	型 式	流 域 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	備	考	
		傾斜遮水ゾーン型	0.089	4.8	34.2	2.0	3.0	2.9		
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備	考	
		正面越流堰式	3.60	0.75			ヒューム管	0.015		

## 2. 堤体補強施設

### (1) 堤体改修

大沢池 押さえ盛土により、下流側の耐震性を確保する。

西側上池 上下流斜面ともに、掘削置換え及び、中層混合処理にて改修を行う。

西側池 上下流斜面ともに改良土盛土を施工するかつ、下流側についてのみ基礎部の固化も併用することで耐震性を確保する。

雨垂池 押さえ盛土により、上流側の耐震性を確保する。

時々谷池 上流側は改良土による堤体置換と基礎部の固化、下流側は押さえ盛土と基礎部の固化にて耐震性を確保する。

山の神池 盛土により、下流側の耐震性を確保する。

### (2) 漏水防止工

## 第6章 付帯工事計画

※該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了予定時期

着 手：令和 8 年度

完了予定：令和 15 年度

## 第8章 環境との調和への配慮

本地区の工事期間中は、ため池上流部を掘り、水をためることなどを行い、ため池に生息する生物を一時退避させるように配慮する。

## 第 9 章 換地計画の概要

### 第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

※該当なし

.....

.....

.....

### 第 2 節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

※該当なし

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
計			

#### 2. 換地区を設定する理由

※該当なし

.....

.....

### 第 3 節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考



第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

※該当なし

2. 清算の方法

※該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
※該当なし				

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

※該当なし

.....

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業種目 \ 項目	事業量	事業費	備考
工事費	1.0 式	773,000	千円
測量及び試験費	1.0 式	90,000	
用地費及び補償費	1.0 式	60,000	
換地費	1.0 式		
小計		150,000	
合計		923,000	
事務費	1.0 式	43,000	
総事業費		966,000	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	区分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備考
農村地域 防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	営農経費節減効果			食料の安定供給の確保に関する効果
	維持管理費節減効果	△ 456		〃
	災害防止効果 (農業関係資産)	13,999		農業の持続的発展に関する効果
	〃 (一般資産)	51,665		農村の振興に関する効果
	〃 (公共資産)			多面的機能の発揮に関する効果
				総費用 (現在価値化) 718,427 千円
				総便益額 (現在価値化) 1,038,748 千円
				総費用総便益比 1.44
	計	65,208		

第 1 2 章 関連する事業

※該当なし

第 1 3 章 現況・計画図面

1. 計画一般図

2. 計画平面図・標準断面図・仮設平面図

3. 土地利用計画図

令和8年度 新規  
 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業  
 【ため池群萩間川3期地区】計画一般図 1/2



S=1:25,000



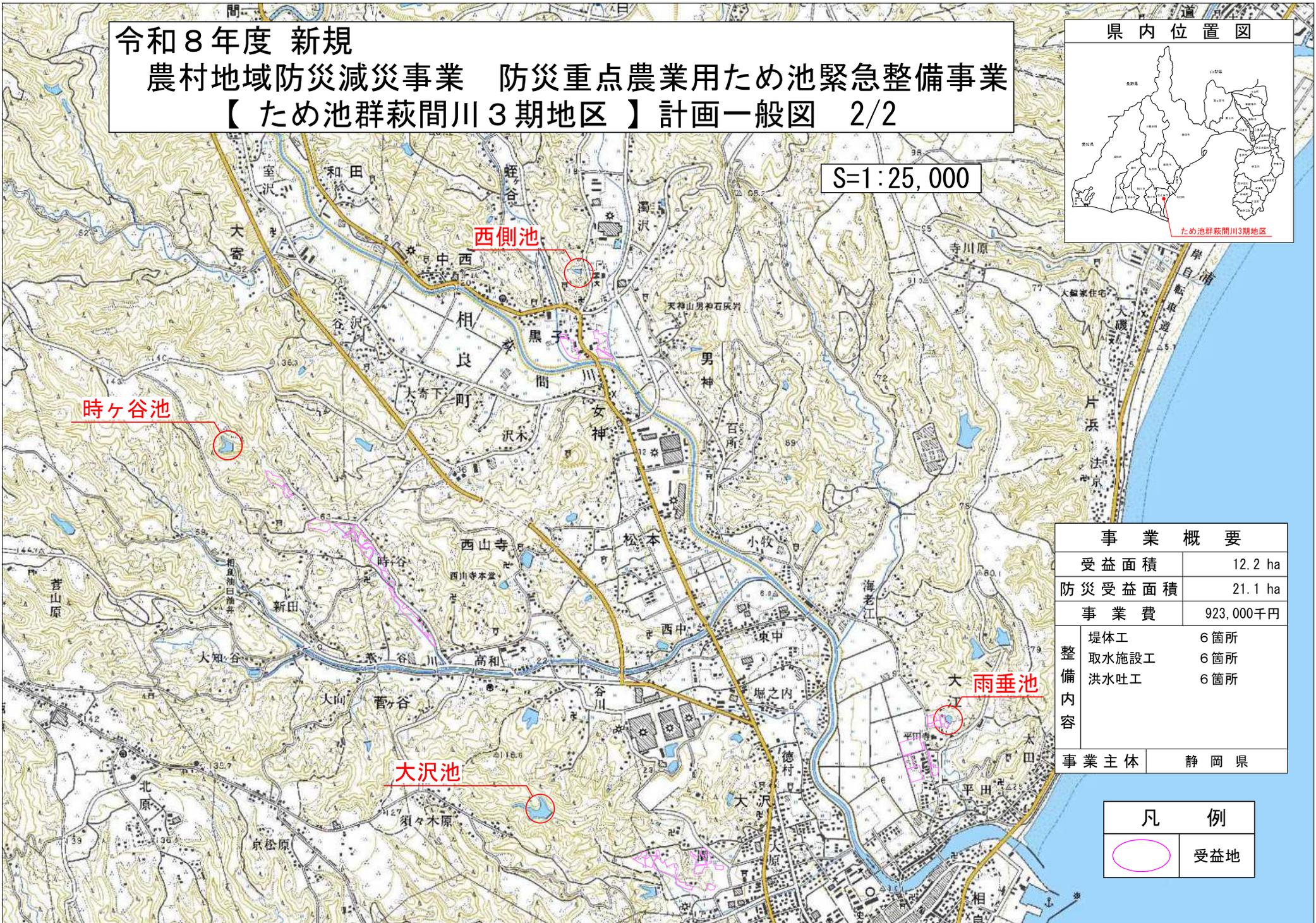
事業概要	
受益面積	12.2 ha
防災受益面積	21.1 ha
事業費	923,000千円
整備内容	堤体工 6箇所
	取水施設工 6箇所
	洪水吐工 6箇所
事業主体	静岡県

凡例	
	受益地

令和8年度 新規  
 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業  
 【ため池群萩間川3期地区】計画一般図 2/2



S=1:25,000



事業概要	
受益面積	12.2 ha
防災受益面積	21.1 ha
事業費	923,000千円
整備内容	堤体工 6箇所
	取水施設工 6箇所
	洪水吐工 6箇所
事業主体	静岡県

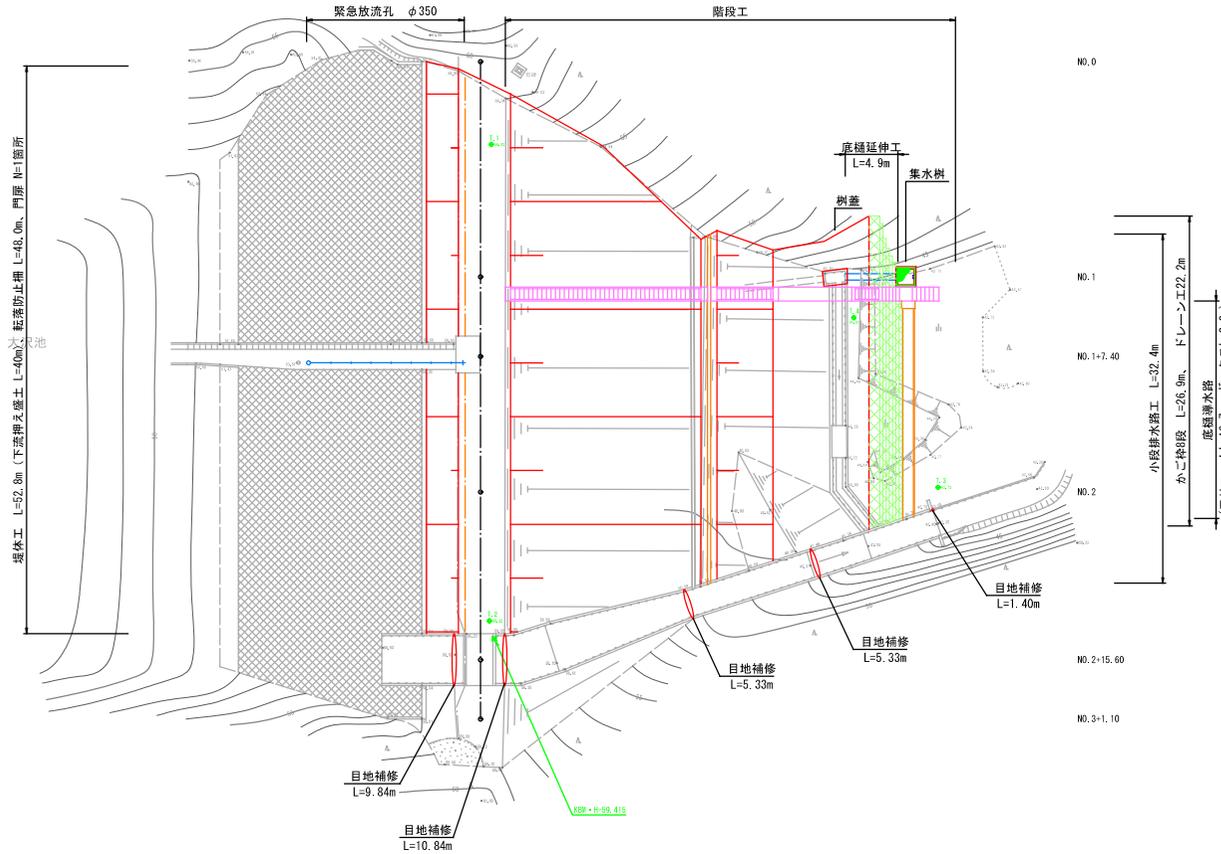
凡例	
	受益地

# 平面図



計画平面図  
1:250  
(1:500)

S=1:250 (A-1)  
牧之原市 大沢



基準点座標 (任意)

点名	X座標	Y座標
I.1	1000.000	5000.000
I.2	973.764	4984.306
I.3	947.369	4999.327
I.4	963.119	5007.288

中心点座標 (任意)

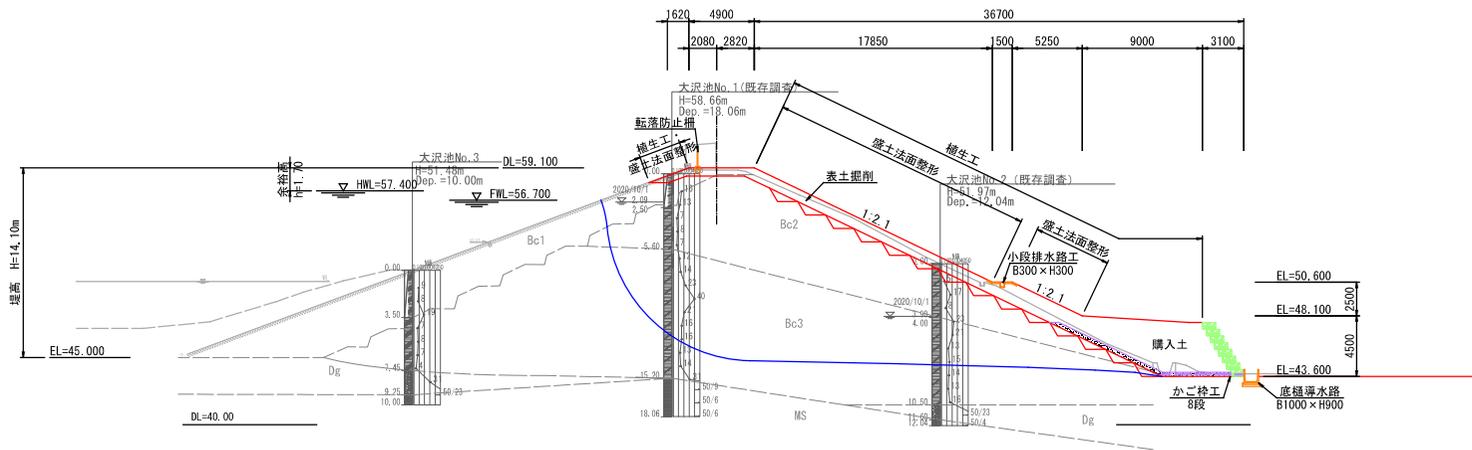
点名	X座標	Y座標
NO.0	1026.389	5006.977
NO.1	993.478	4889.509
NO.1+7.40	989.072	4892.981
NO.2	981.570	4972.460
NO.2+15.60	972.282	4860.907
NO.3+1.10	969.007	4956.488

令和4年度  
農村地域防災減災事業牧之原9期地区  
(大沢池)概略設計業務委託

図面の名称	図面の番号
大沢池 計画平面図	1
縮尺 図示 ( ) はA3縮小	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
建図 原図	
事務所長	主任
主幹課長	係員

標準断面図

S=1:200  
(S=1:400)



土質定数一覧

土層区分	記号	湿潤重量 NK/m <sup>3</sup>	飽和重量 NK/m <sup>3</sup>	粘着力 NK/m <sup>2</sup>	内部摩擦角	透水係数 m/sec
盛土1 (新盛土)	Bc1	19.3	19.8	11	37.6	1.13 × 10 <sup>-7</sup>
盛土2 (旧盛土)	Bc2	19.1	19.4	18	25.9	1.08 × 10 <sup>-3</sup>
盛土3 (旧盛土)	Bc3	19.1	19.2	20	32.9	3.20 × 10 <sup>-6</sup>
洪積礫質土層	Dg	20.0	20.8	0	36.2	—
泥岩層	MS	22.0	22.8	340	21.2	—
押え盛土		19.0	19.8	5	30	—

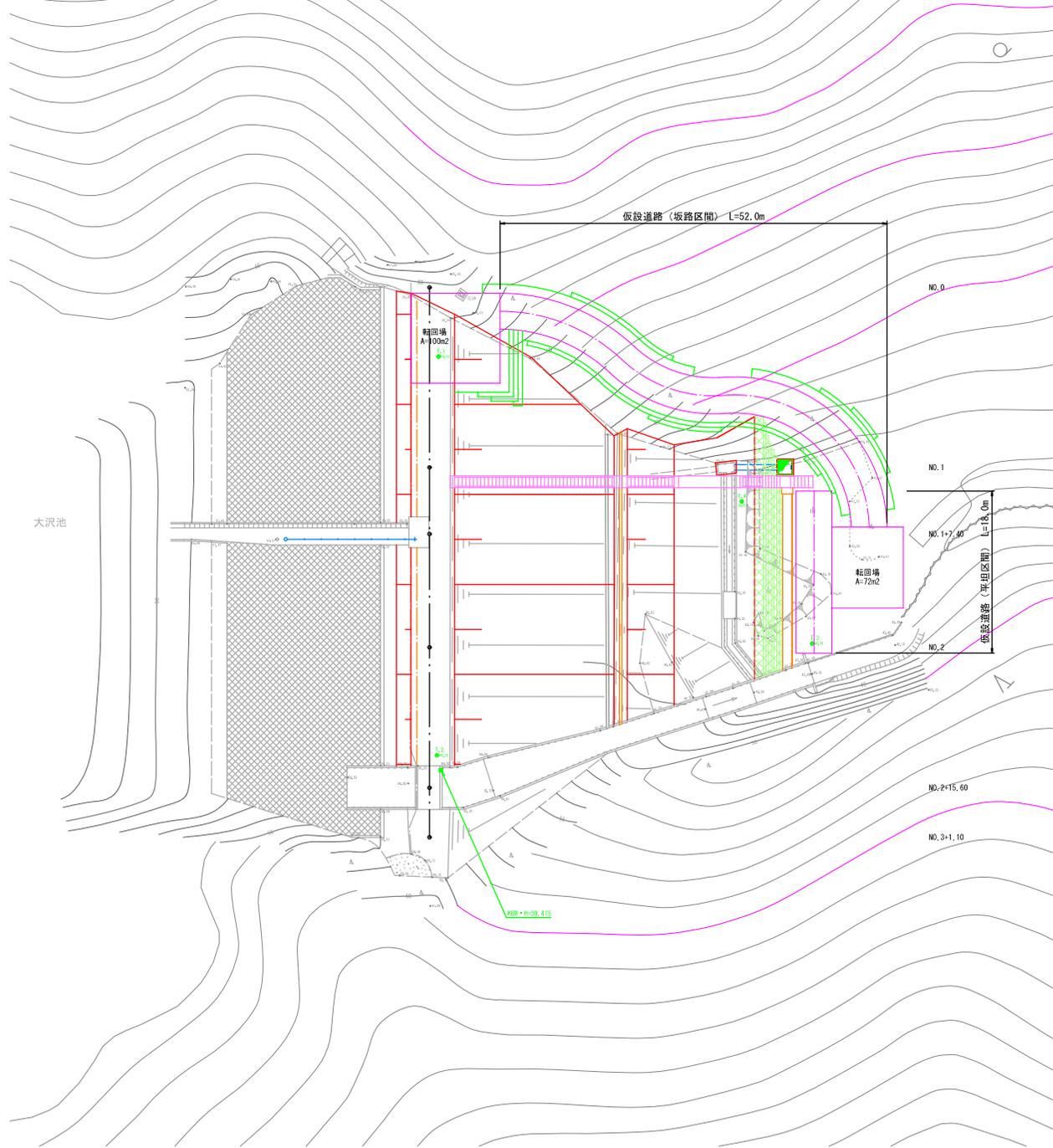
下流土工数量

表土掘削	24.6
掘削	10.5
床積	—
切土面覆土上	39.4
植生	7.9
ランダム	—
購入土盛土 (BUL・人力)	68.9
改良土盛土 (BUL・人力)	—
改良土盛土 (BUL・機械)	—
BUL混合	—
盛土法面整形	28.8
植生工	37.0

令和4年度  
農村地域防災減災事業牧之原9期地区  
(大沢池)概略設計業務委託

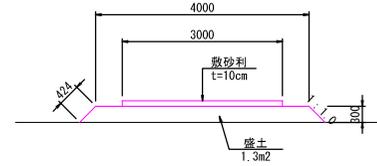
図面の名称		図面の番号
大沢池 堤体工標準断面図		3
縮尺 図示 ( ) はA3縮小		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

仮設平面図  
1:250  
(1:500)



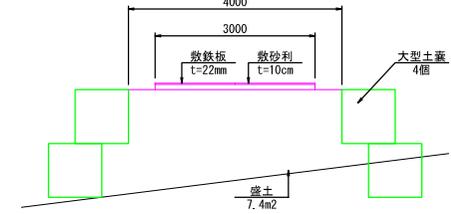
仮設道路

平坦区間  
1:50  
(1:100) 延長 L=18.0m



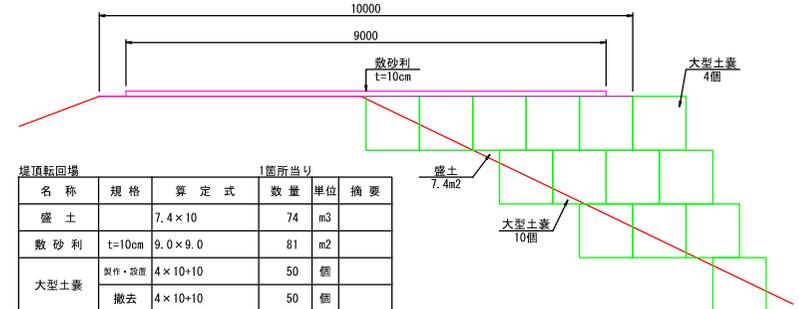
平坦区間		100m当り			
名称	規格	算定式	数量	単位	摘要
盛土		1.3×100	130	m3	
敷砂利	t=10cm	3.0×100	300	m2	
盛土法面整形		0.4×2×100	80	m2	
残土処理		130+300×0.1	160	m3	

坂路区間  
1:50  
(1:100) 延長 L=52.0m



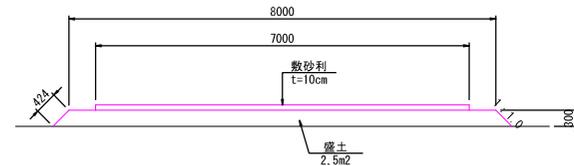
坂路区間		100m当り			
名称	規格	算定式	数量	単位	摘要
盛土		7.4×100	740	m3	
敷砂利	t=10cm	3.0×100	300	m2	
敷鉄板	1.5×3.0m t=22mm	100÷3.0×2	67	枚	
大型土壌	製作・設置	4×100	400	個	
	撤去	4×100	400	個	
残土処理		740+300×0.1	770	m3	

堤頂転回場  
1:50  
(1:100) 延長 L=10.0m



堤頂転回場		1箇所当り			
名称	規格	算定式	数量	単位	摘要
盛土		7.4×10	74	m3	
敷砂利	t=10cm	9.0×9.0	81	m2	
大型土壌	製作・設置	4×10+10	50	個	
	撤去	4×10+10	50	個	
残土処理		74+81×0.1	82	m3	

下流転回場  
1:50  
(1:100) 延長 L=9.0m



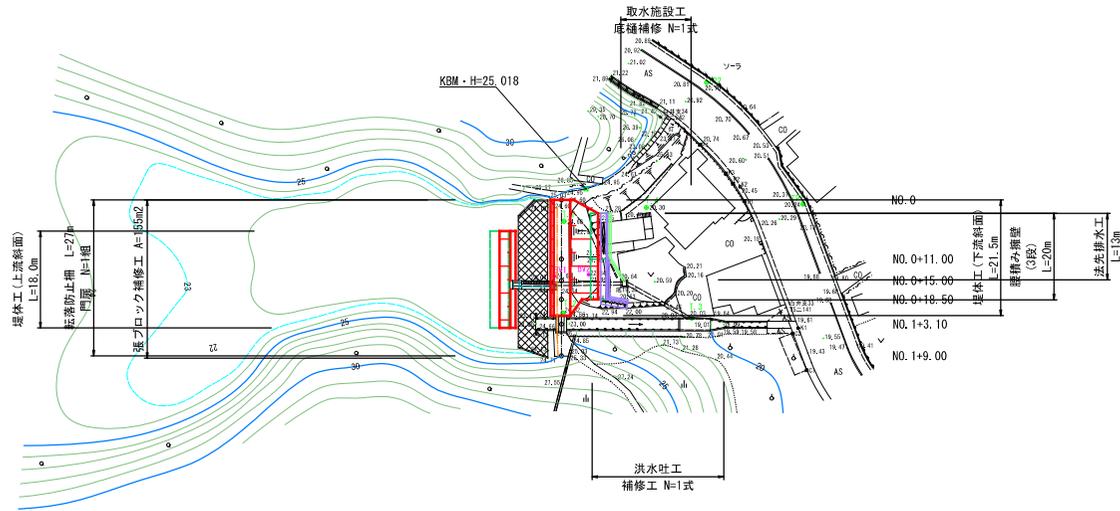
下流転回場		1箇所当り			
名称	規格	算定式	数量	単位	摘要
盛土		2.5×9.0	23	m3	
敷砂利	t=10cm	7.0×8.0	56	m2	
盛土法面整形		0.4×(9+8)×2	14	m2	
残土処理		23+56×0.1	29	m3	

令和4年度  
農村地域防災減災事業牧之原9期地区  
(大沢池)概略設計業務委託

図面の名称		図面の番号
大沢池 仮設図		8
縮尺 図示 ( ) はA3縮小		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
監図	原図	
	謄写	
	事務所長	主任
主幹課長	係員	

# 牧之原市 白井

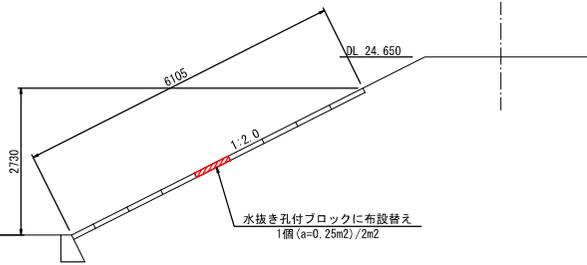
S=1:500 (A-1)  
S=1:1000 (A-3)



## 張ブロック補修工

S=1:50  
(S=1:100)

既設張ブロック工 ΣA=155m<sup>2</sup>



## 張ブロック補修工

1式当り (A=155m<sup>2</sup>)

名称	規格	算定式	数量	単位	摘要
張ブロック	500×500×90	155×0.125	19.4	m <sup>2</sup>	水抜き孔付
目地モルタル	1:3	34.9/10×0.1	0.3	m <sup>3</sup>	
吸出し防止材	200×200×10	155/2.0×0.2×0.2	3.1	m <sup>2</sup>	

※張ブロックは、2.0m<sup>2</sup>に1箇所水抜き孔付きのブロックを使用する。

全ブロック数: N=4個/m<sup>2</sup>

=0.25m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>

水抜き孔付ブロック: A=0.25m<sup>2</sup>/2.0m<sup>2</sup>

=0.125m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>

目地モルタル: V=0.1m<sup>3</sup>/10m<sup>2</sup>

対象面積: 布設替えブロック19.4+補修箇所15.5(全ブロックの1割程度と推定)

=34.9m<sup>2</sup>

## 基準点座標 (任意座標)

点名	X座標	Y座標
T-1	1000.000	5000.000
T-2	988.350	4989.807
T-3	971.333	5008.754
T-4	977.854	5013.977

## 中心点座標 (任意座標)

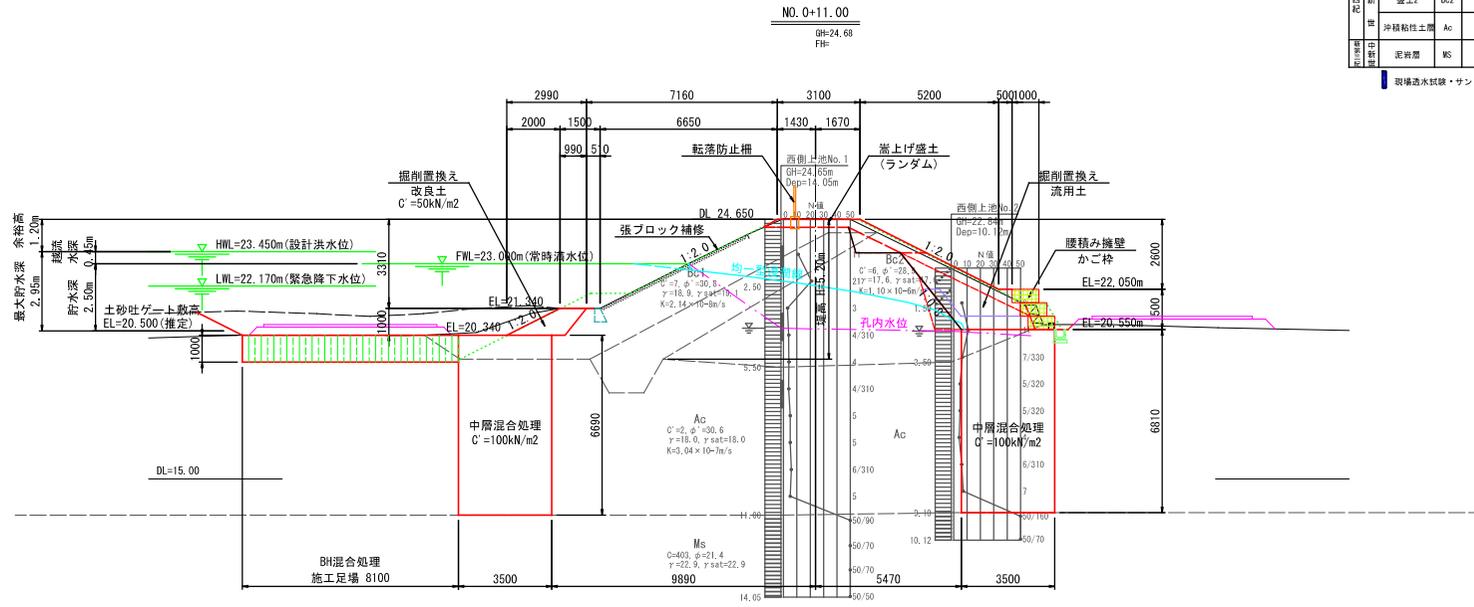
点名	X座標	Y座標
NO.0	1000.500	5001.985
NO.0+11.00	994.617	4995.477
NO.0+15.00	991.386	4993.119
NO.0+18.50	988.569	4991.044
NO.1+3.10	984.845	4988.340
NO.1+9.00	980.081	4984.681

令和4年度  
渇水対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡13期  
(志太橋原) 地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
西側上池 計画平面図 縮尺1:500 (A3は1:1000)	1
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図際写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

堤体工標準横断面図

S=1:100  
(S=1:200)



凡例

時代	地層区分	記号	N 値	特 徴
第四紀	盛土1	Bc1	11~21	新盛土、さやまと刃盛土、粘土、φ2~30mmの泥管花線を少量混入。
		Bc2	3~11	旧盛土、粘土、礫混じり粘土、泥岩解や木片を混入、φ2~20mmの花線を少量混入。
	沖積粘性土層	Ac	3.9~7	粘土、部分的にφ2~30mmの礫を少量混入、含水比や多い、粘性中位~強い、腐植物や木片を混入。
更新世	泥岩層	MS	50以上	岩塊、短~長柱状コアで採取される。コアは手で割れる程度、Cl~Cl級粘岩。

■ 取壊透水試験・サンプリング・土質試験

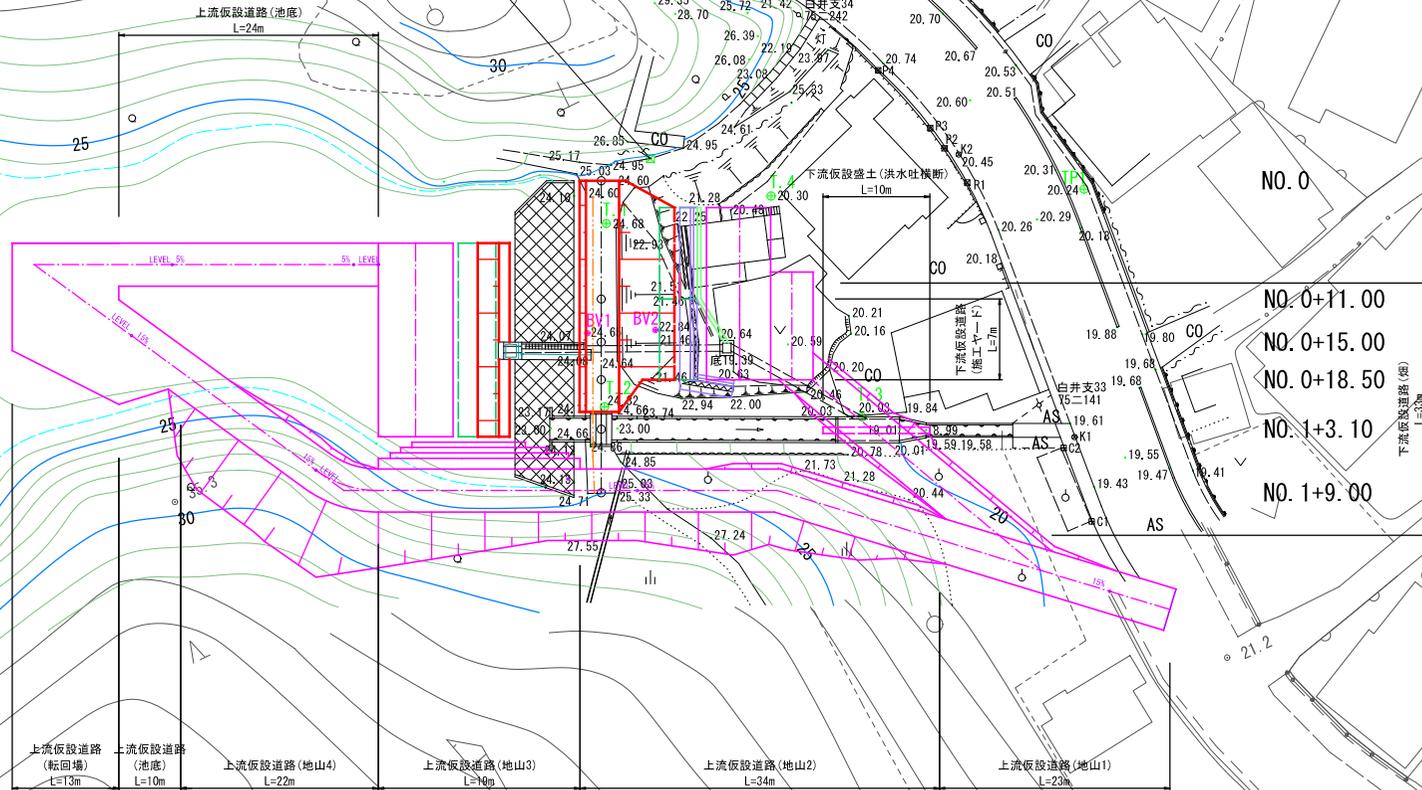
令和4年度  
鹿児島県農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 計画13期  
(志太橋原) 地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
西側上地 堤体工標準横断面図 縮尺 1:100 (A3は 1:200)	3
測 量	平成年月日終了
設 計	
製 原 図	
図 際 写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

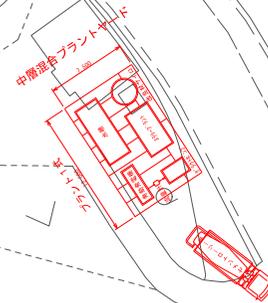
KBM, H=25.018

仮設計画平面図

S=1/250  
(S=1/500)



- NO. 0+11.00
- NO. 0+15.00
- NO. 0+18.50
- NO. 1+3.10
- NO. 1+9.00



津島神社

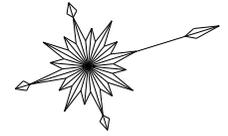
令和4年度  
震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡13期  
(高木橋原) 地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
西側上池 仮設工一般図 1/3	11
縮尺 NO SCALE	
測量	平成 年月 日終了
設計	
製図	
図勝写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 西側池 平面図

牧之原市 白井

S=1 : 250 (A1)  
S=1 : 500 (A3)

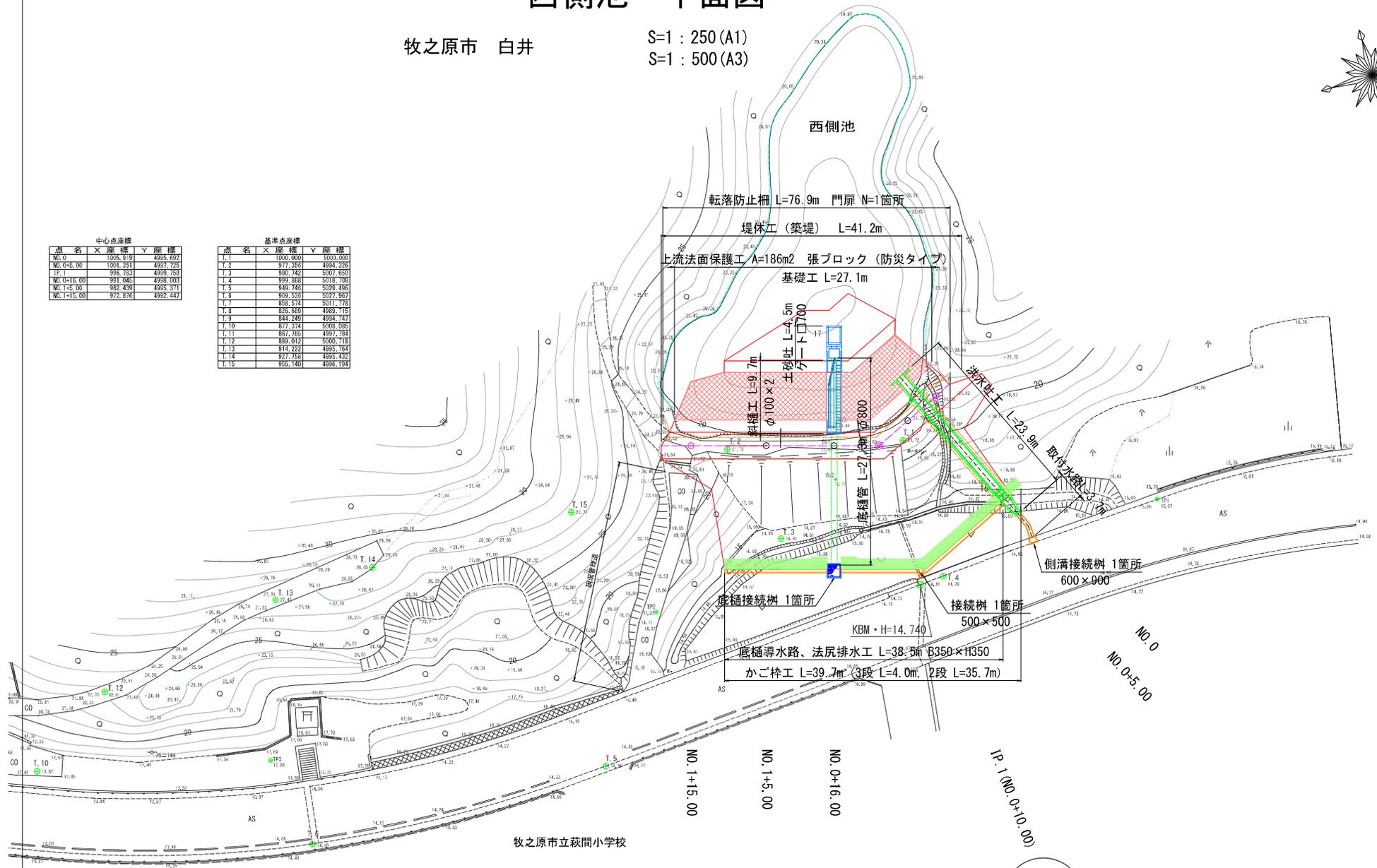


中心点座標

点名	X座標	Y座標
W.0	1005.919	4995.697
W.0+5.00	1001.351	4997.725
IP	998.783	4998.758
W.0+10.00	991.045	4998.000
W.1+5.00	987.429	4995.311
W.1+15.00	972.976	4992.447

基準点座標

点名	X座標	Y座標
I.1	1000.000	5000.000
I.2	997.255	4994.235
I.3	990.742	5007.650
I.4	989.888	5018.703
I.5	949.745	5028.486
I.6	909.535	5027.927
I.7	858.574	5011.773
I.8	825.929	4989.715
I.9	844.249	4994.747
I.10	877.374	5008.885
I.11	887.785	4997.284
I.12	869.072	5000.713
I.13	914.222	4995.764
I.14	927.756	4995.433
I.15	925.740	4996.194

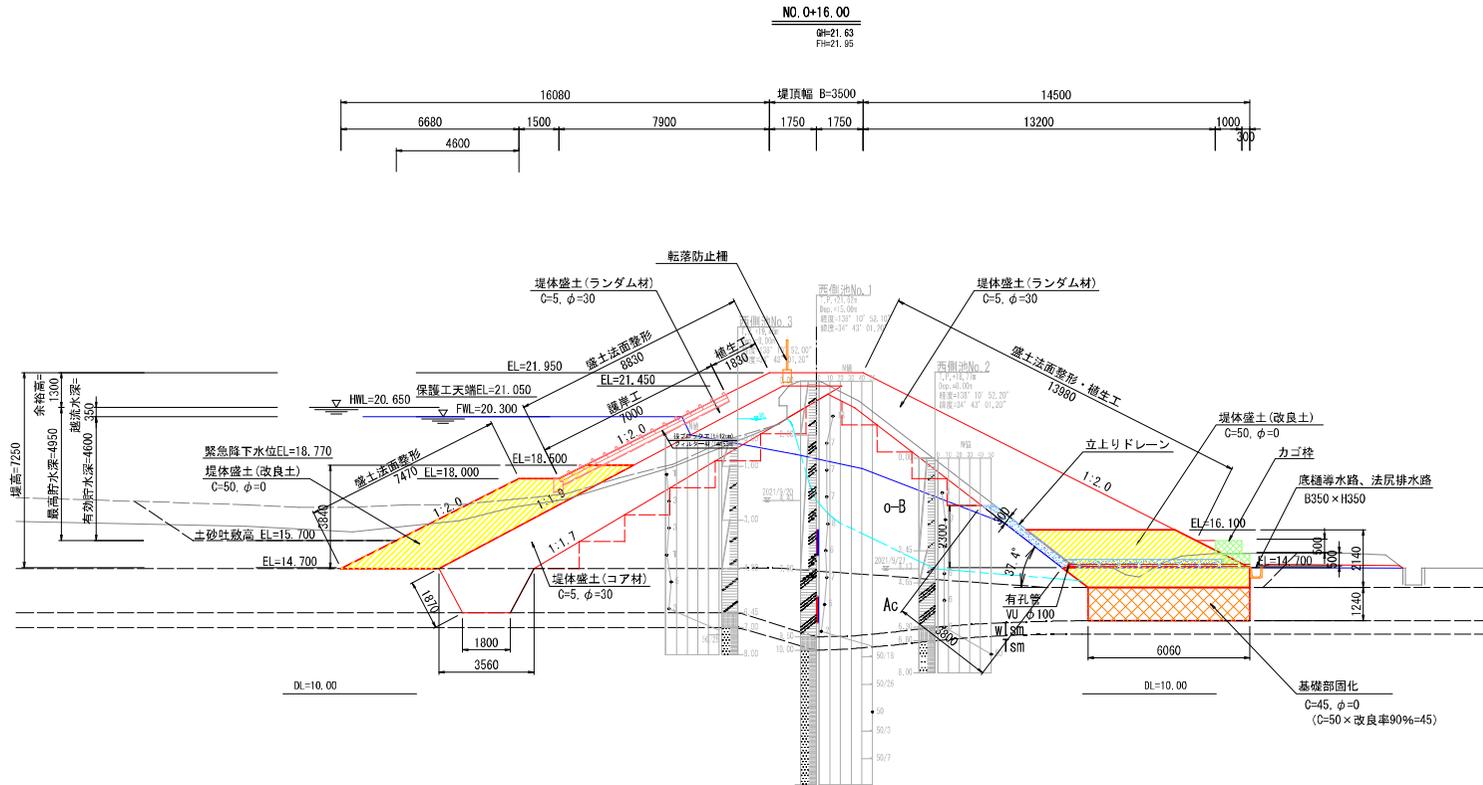


IP. 1  
IA=41-00-00

令和6年度防災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
橋原)地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
西側池 平面図	1
縮尺 1:250 (A-1) 1:500 (A-3)	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	原図
	晒写
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 標準断面図



土質定数一覧

土層区分	記号	湿潤重量 NK/m <sup>3</sup>	飽和重量 NK/m <sup>3</sup>	粘着力 NK/m <sup>2</sup>	内部摩擦角	透水係数 m/sec
旧盛土(粘性土)	o-B	19.6	19.7	12	31.6	3.32×10 <sup>-7</sup>
沖積粘性土層	Ac	18.7	18.8	15	27.2	6.46×10 <sup>-8</sup>
相良層群	wTsm	22	23	73	20	—
風化砂岩泥岩互層						
相良層群						
砂岩泥岩互層	Tsm	22	23	207	21	—
新堤体盛土	n-B	19.0	19.8	5	30.0	—
新切金土	nh-B	19.0	19.8	5	30.0	1.00×10 <sup>-7</sup>
改良土盛土(流用土)	ok-B	19.6	19.7	50	0	—
改良土盛土2(購入土)	rik-B	19.0	19.8	50	0	—
基礎部固化	k-Ac	18.7	18.8	100	0	—

上流側土工数量

表土掘削	0.5
泥土掘削	18.1
掘削	20.7
戻土	4.4
コアゾーン 購入土盛土(改良・機械)	22.6
コアゾーン 購入土盛土(入力・機械)	1.4
ランダムゾーン 購入土盛土(改良・機械)	6.5
ランダムゾーン 購入土改良盛土(改良・機械)	12.6
盛土法面整形(機械)	16.3
切土面掘削(入力)	3.7
基面整正(入力)	1.8
植生工	1.8

下流側土工数量

表土掘削	5.8
掘削	5.0
ランダムゾーン 購入土盛土(改良・機械)	22.9
ランダムゾーン 購入土改良盛土(改良・機械)	13.3
基礎部固化(砂土混混合)	30.3
盛土法面整形(機械)	14.0
切土面掘削(入力)	3.8
植生工	14.0

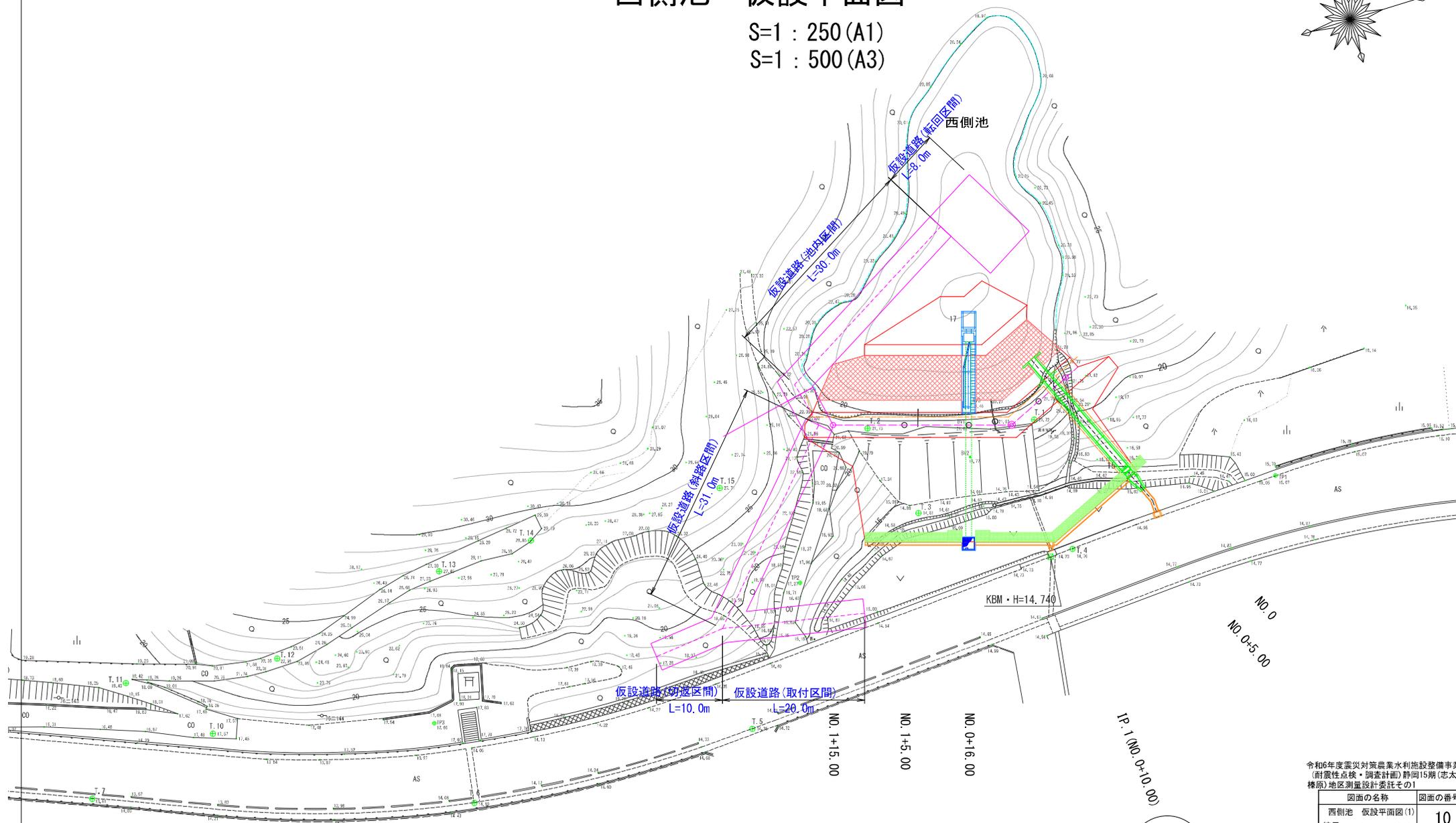
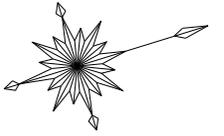
令和6年度震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
橋原)地区測量設計委託その1

図面の名称		図面の番号
西側池 標準断面図		3
縮尺 1:100 (A3は1:200)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
原図		
図 照写		
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

# 西側池 仮設平面図

S=1 : 250 (A1)

S=1 : 500 (A3)



牧之原市立萩間小学校

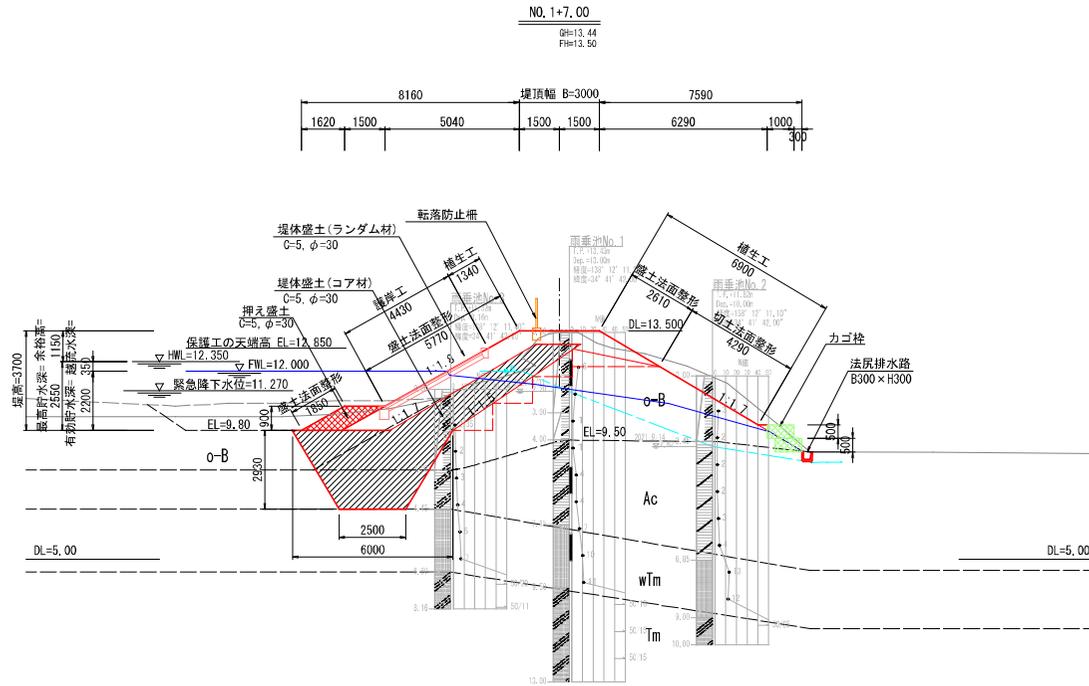
IP. 1  
IA=41-00-00

令和6年度震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
標原)地区測量設計委託その1

図面の名称		図面の番号
西側池 仮設平面図(1)		10
縮尺 1:250(A-1) 1:500(A-3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
主幹課長	係員	



標準断面図



上流側土工数量

表土掘削	-
泥土掘削	9.6
掘削	6.7
戻土	12.5
コアゾーン 埋入土盛土 (8L+機)	18.9
ランダムゾーン 埋入土盛土 (8L+機)	9.6
盛土法面整形 (機械)	7.6
切土面荒仕上 (人力)	6.8
基面修正 (人力)	2.5
植生工	1.3

土質定数一覧

土層区分	記号	湿潤重量 NK/m <sup>3</sup>	飽和重量 NK/m <sup>3</sup>	粘着力 NK/m <sup>2</sup>	内部摩擦角	透水係数 m/sec
旧盛土 (粘性土)	o-B	18.6	19.0	9	30.1	1.72 × 10 <sup>-7</sup>
沖積粘性土層	Ac	19.1	19.2	18	24.9	2.71 × 10 <sup>-6</sup>
相良層群 風化砂質泥岩層	wTm	19.6	19.8	10	35.5	4.75 × 10 <sup>-8</sup>
相良層群 砂質泥岩層	Tm	22	23	232	21	-
新堤体盛土	n-B	19.0	19.8	5	30.0	-
新刃金土	nh-B	19.0	19.8	5	30.0	1.00 × 10 <sup>-7</sup>
押え盛土		19.0	19.8	5	30.0	-

下流側土工数量

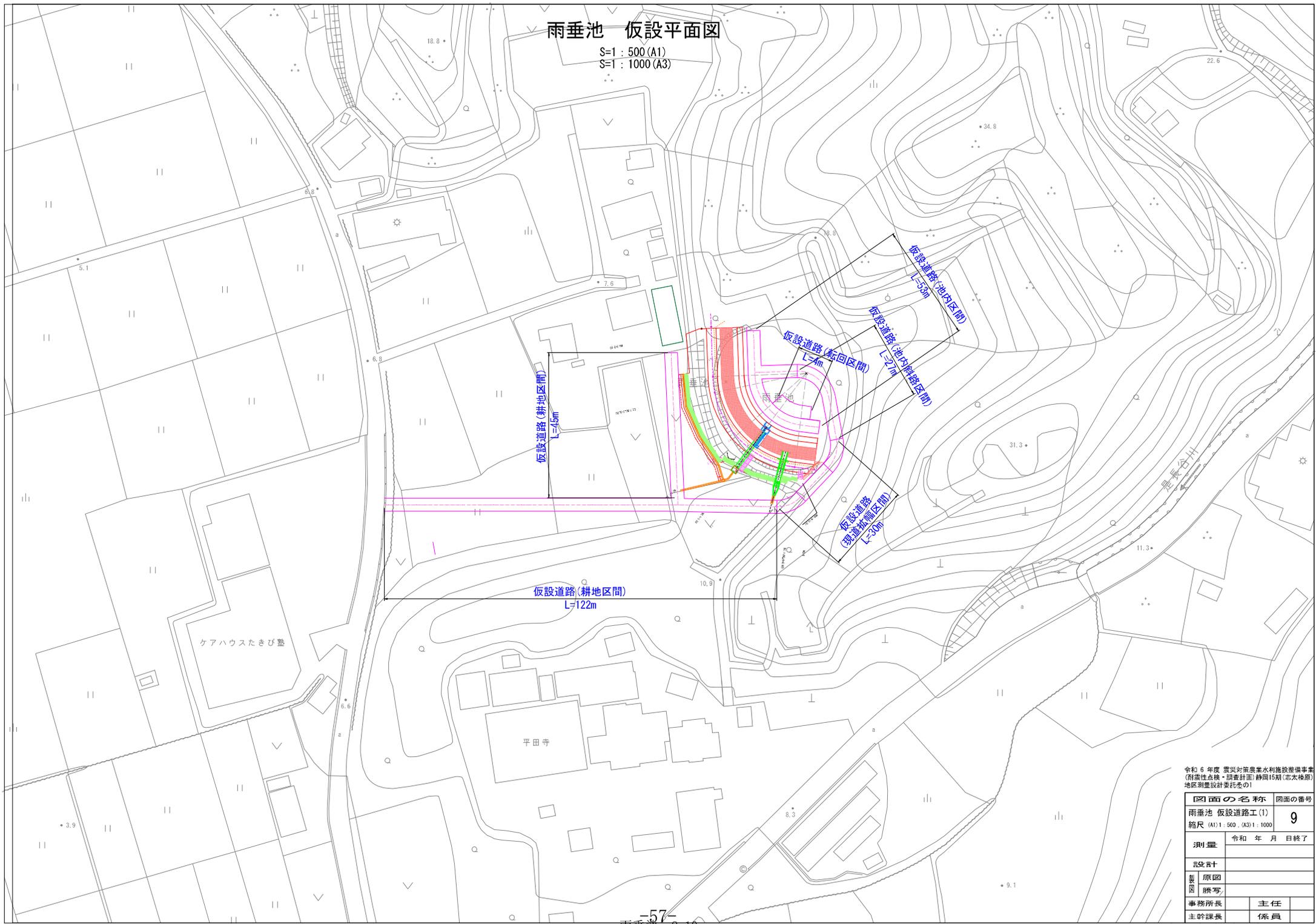
表土掘削	3.6
掘削	1.3
盛土法面整形 (機械)	2.6
切土面荒仕上 (人力)	4.3
植生工	6.9

令和6年度震災対策農業水利施設整備事業 (耐震性点検・調査計画) 静岡15期 (志太 穂原) 地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
雨垂池 標準断面図	3
縮尺 1:100 (A3は1:200)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
原図	
製図	
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 雨垂池 仮設平面図

S=1:500 (A1)  
S=1:1000 (A3)



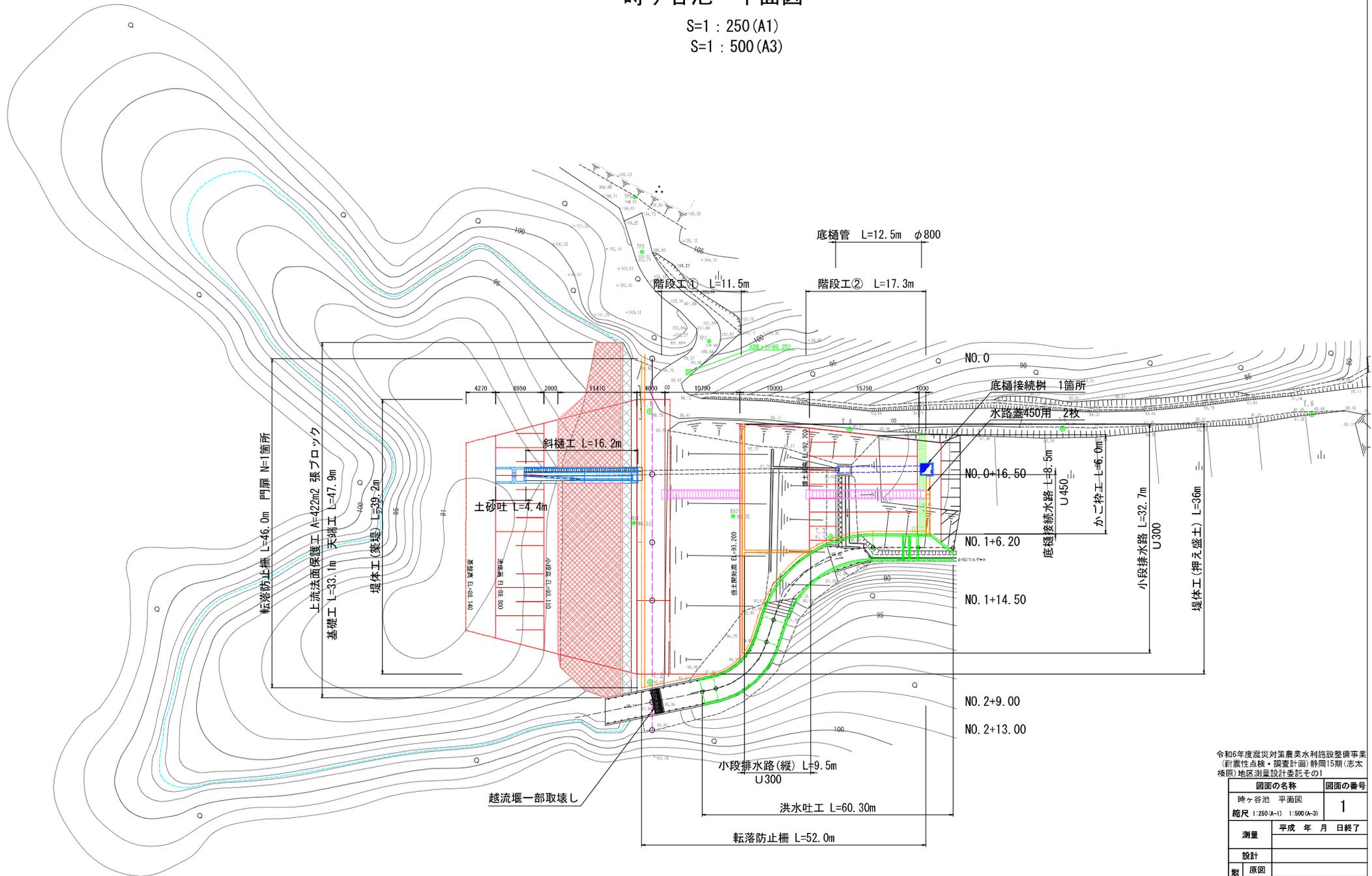
令和6年度 震災対策農業水利施設整備事業  
(附帯性点検・調査計画) 静岡15期(志太橋原)  
地区測量設計委託書の1

図面の名称	図面の番号
雨垂池 仮設道路工(1)	9
縮尺 (A1): 1:500 (A3): 1:1000	
測量	令和 年月 日終了
設計	
製図	原図
製図	謄写
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 時ヶ谷池 平面図

S=1 : 250 (A1)

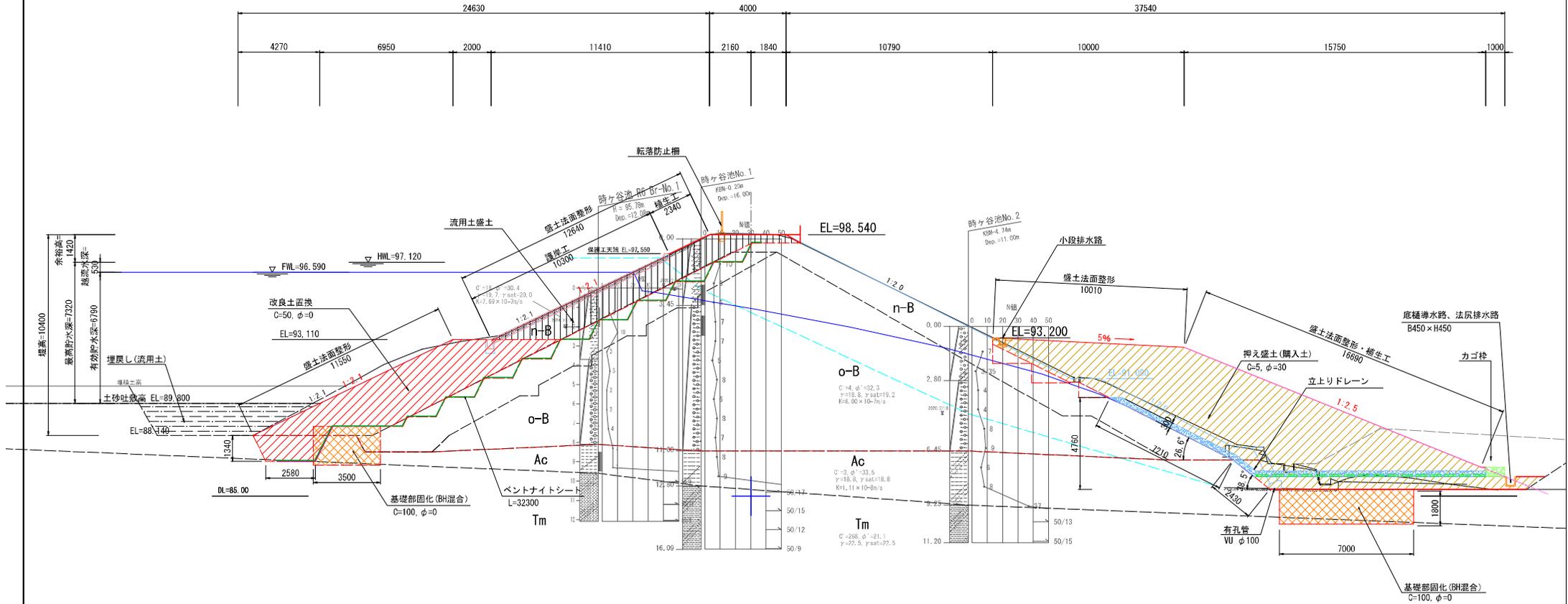
S=1 : 500 (A3)



令和6年度震災対策農業水利施設整備事業  
 (耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
 橋原)地区測量設計委託その1

図面の名称		図面の番号
時ヶ谷池 平面図		1
縮尺 1:250 (A-1) 1:500 (A-3)		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

# 標準断面図



土工数量

表土掘削	1.6
泥土掘削	20.9
堤体掘削	51.5
切土面仕上げ	12.6
流用土盛土(機械)	18.3
改良土盛土(機械)	32.6
BH混合	7.0
池底埋戻(機械)	12.0
ベントナイトシート	32.3
盛土法面整形	24.9
植生工	2.3

土質定数一覧

土層区分	記号	湿潤重量 KN/m <sup>3</sup>	飽和重量 KN/m <sup>3</sup>	粘着力 KN/m <sup>2</sup>	内部摩擦角	透水係数 m/sec
盛土(粘性土)	n-B	19.7	20.0	18	30.4	7.69×10 <sup>-7</sup>
旧盛土(粘性土)	o-B	18.8	19.2	4	32.3	6.00×10 <sup>-7</sup>
沖積粘性土層	Ac	18.8	18.8	3	33.5	1.11×10 <sup>-8</sup>
相良層粘泥岩	Tm	22.5	22.5	268	21.1	-
新盛土1(購入土)	B-1	19.0	19.8	5	30.0	-
新盛土2(改良土)	B-2	19.0	19.8	50	-	-
基礎部固化	Ac-C	18.8	18.8	100	-	-

下流側土工数量

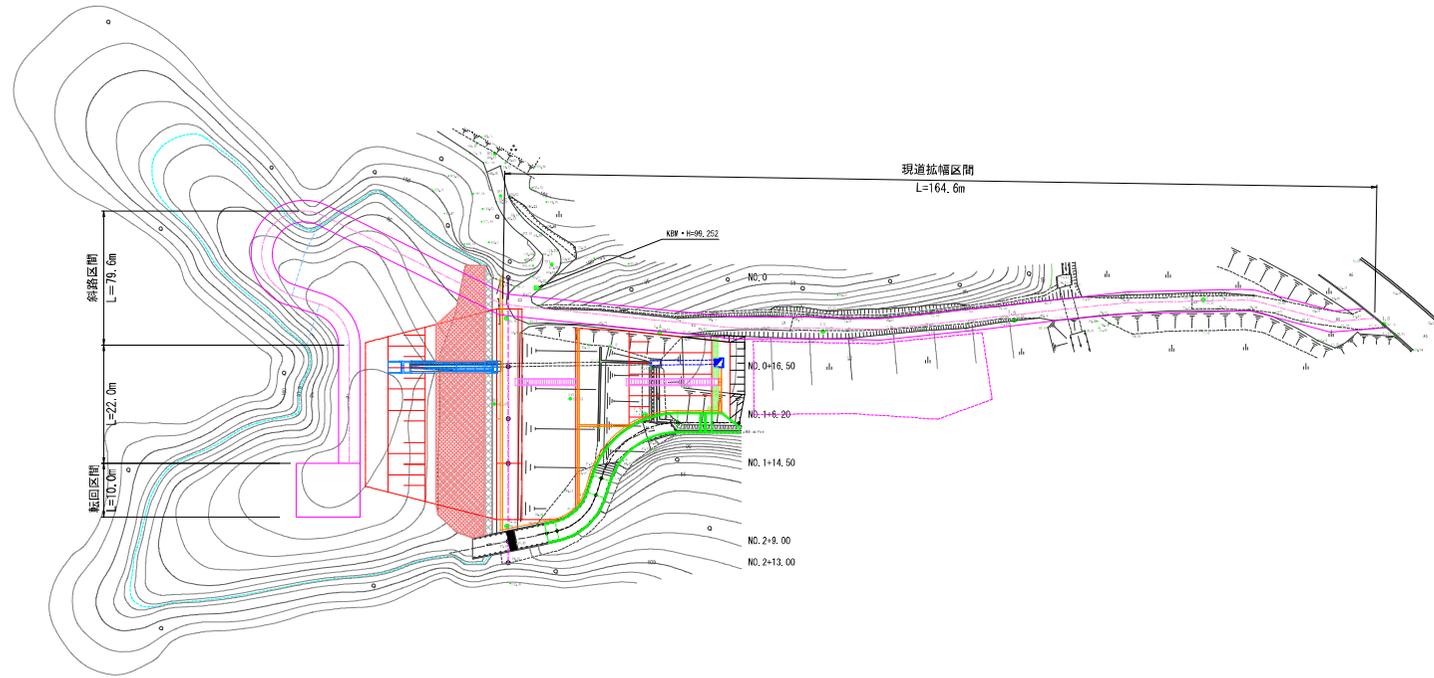
表土掘削	4.9
堤体掘削	7.0
地区外掘削	34.8
購入土盛土(機械)	86.0
基礎部固化(BH混合)	12.6
切土面仕上げ	9.7
切土面仕上げ(地区外)	4.5
盛土法面整形	25.8
植生工	15.8

令和6年度震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
疎水)地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
時ヶ谷池 標準断面図	3
縮尺 1:100 (A3は1:200)	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
原因	
図 照写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 時ヶ谷池 仮設平面図

S=1 : 500 (A1)  
S=1 : 1000 (A3)



基準点座標		
点名	X座標	Y座標
L,1	1000.000	2000.000
L,2	961.496	1996.674
L,3	979.977	2074.389
L,4	994.924	2079.395
L,5	992.333	2058.939
L,6	991.501	2094.831
L,7	991.952	2100.502
L,8	984.418	2163.797

中心点座標		
点名	X座標	Y座標
NO,0	1007.483	2001.012
NO,0+16.50	997.028	1999.568
NO,1+6.20	987.363	1986.700
NO,1+14.50	973.095	1997.993
NO,2+8.00	958.851	1996.724
NO,2+13.00	954.666	1996.374

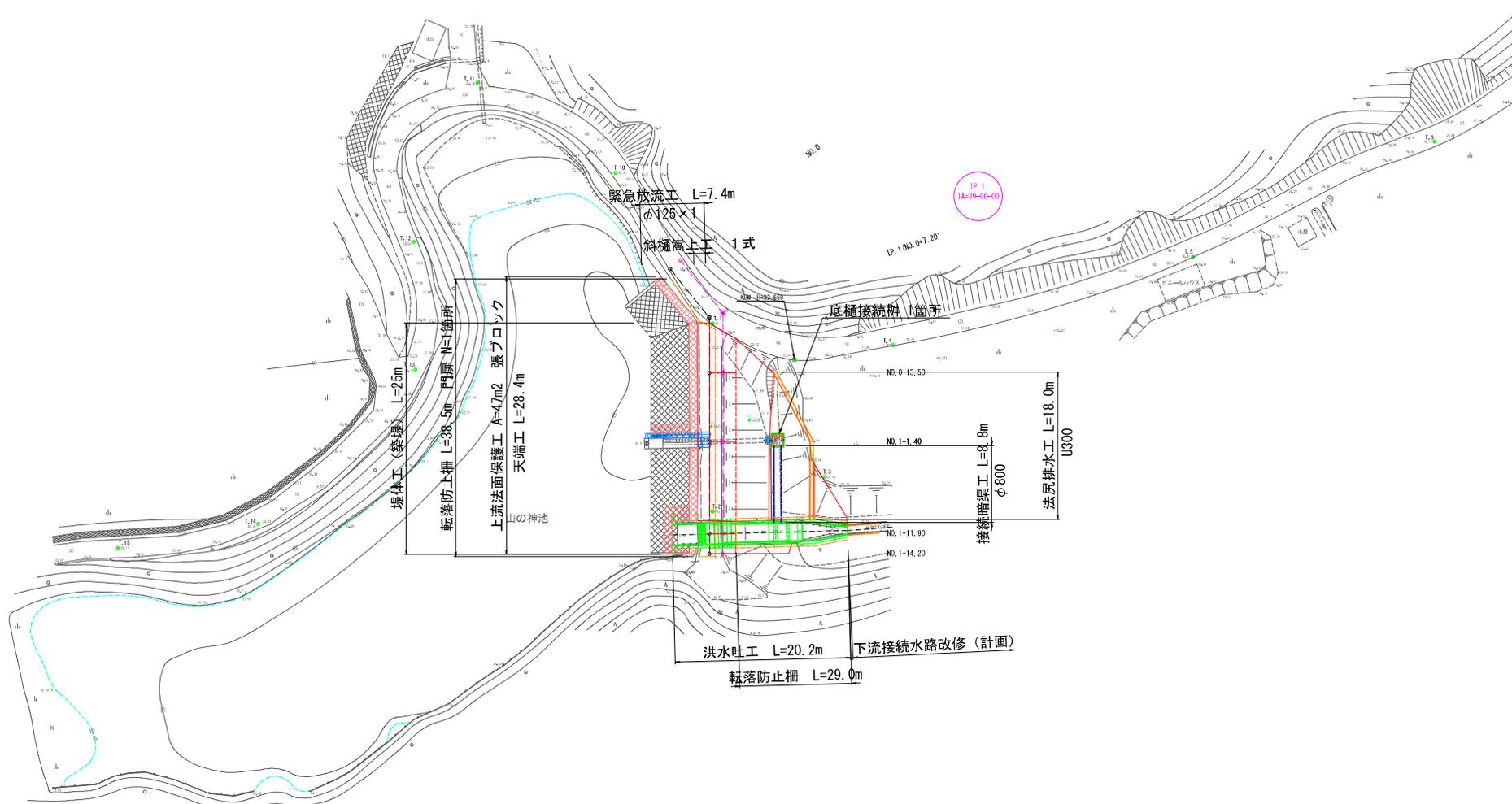
令和 6 年度 震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太棟原)  
地区測量設計委託その1

図面の名称	図面の番号
時ヶ谷池 仮設工(1)	12
縮尺 (A1): 500 (A3): 1:1000	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
製図	謄写
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 山の神池 平面図

S=1 : 250 (A1)  
S=1 : 500 (A3)

牧之原市 白井

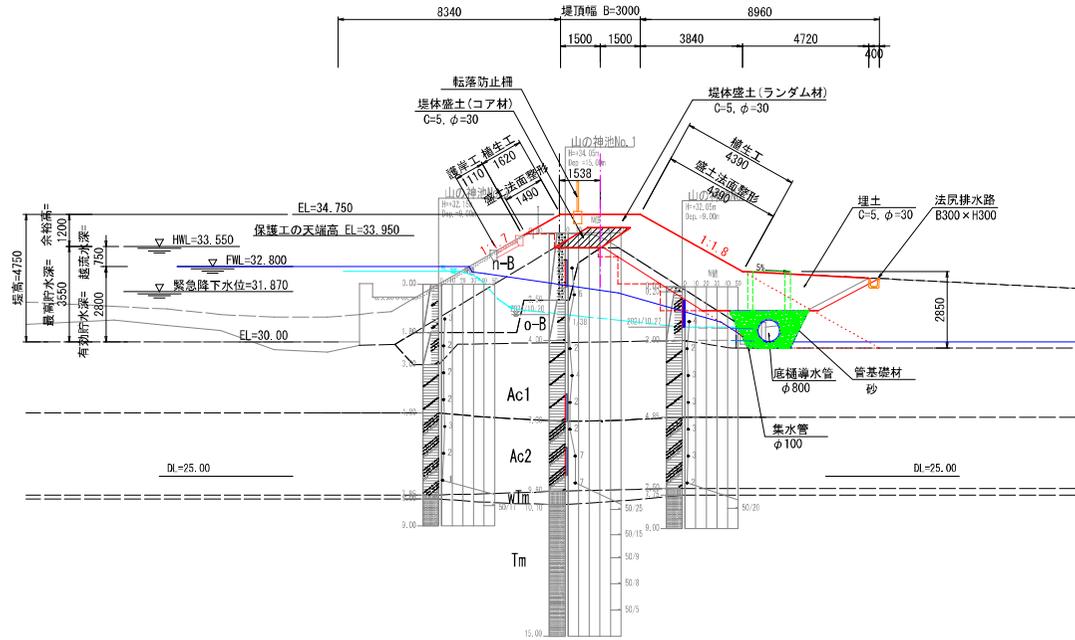


令和6年度震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
橋原)地区測量設計委託その1

図面の名称		図面の番号
山の神池 平面図		1
縮尺 1:250 (A-1) 1:500 (A-3)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

標準断面図

NO. 1+1.40



上流側土工数量

表土掘削		-
掘削		-
コアゾーン	挿入土盛土 (8L+機械)	1.3
ランダムゾーン	挿入土盛土 (8L+機械)	-
	盛土法面整形 (機械)	1.5
	切土法面整形 (機械)	0.9
	植生工	1.6

土質定数一覧

土層区分	記号	湿潤重量 NK/m <sup>3</sup>	飽和重量 NK/m <sup>3</sup>	粘着力 NK/m <sup>2</sup>	内部摩擦角	透水係数 m/sec
盛土1 (粘性土)	n-B	19.6	20.3	15	27.4	2.23 × 10 <sup>-7</sup>
盛土2 (粘性土)	o-B	17.6	18.2	10	33.7	1.26 × 10 <sup>-8</sup>
第1沖積粘性土層	Ac1	18.9	19	11	25.7	4.97 × 10 <sup>-7</sup>
第2沖積粘性土層	Ac2	19.2	19.3	12	27.2	8.11 × 10 <sup>-7</sup>
相良層群 風化泥岩層	wTm	-	-	-	-	-
相良層群 泥岩層	Tm	22	23	259	21	-
新盛土1 (粘性土)		19.0	19.8	5	30.0	1.00 × 10 <sup>-7</sup>

下流側土工数量

表土掘削		2.7
掘削		1.7
コアゾーン	挿入土盛土 (8L+機械)	-
ランダムゾーン	挿入土盛土 (8L+機械)	17.1
	盛土法面整形 (機械)	4.4
	切土面整形上 (人力)	1.6
	基面整正 (人力)	1.6
	植生工	4.4

令和6年度震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期(志太  
橋原)地区測量設計委託その1

図面の名称		図面の番号
山の神池 標準断面図		3
縮尺 1:100 (A3は1:200)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図		
原図		
署名		
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

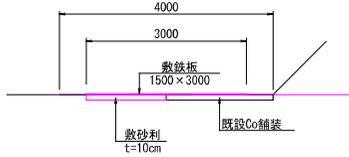
# 山の神池 仮設平面図

牧之原市 白井

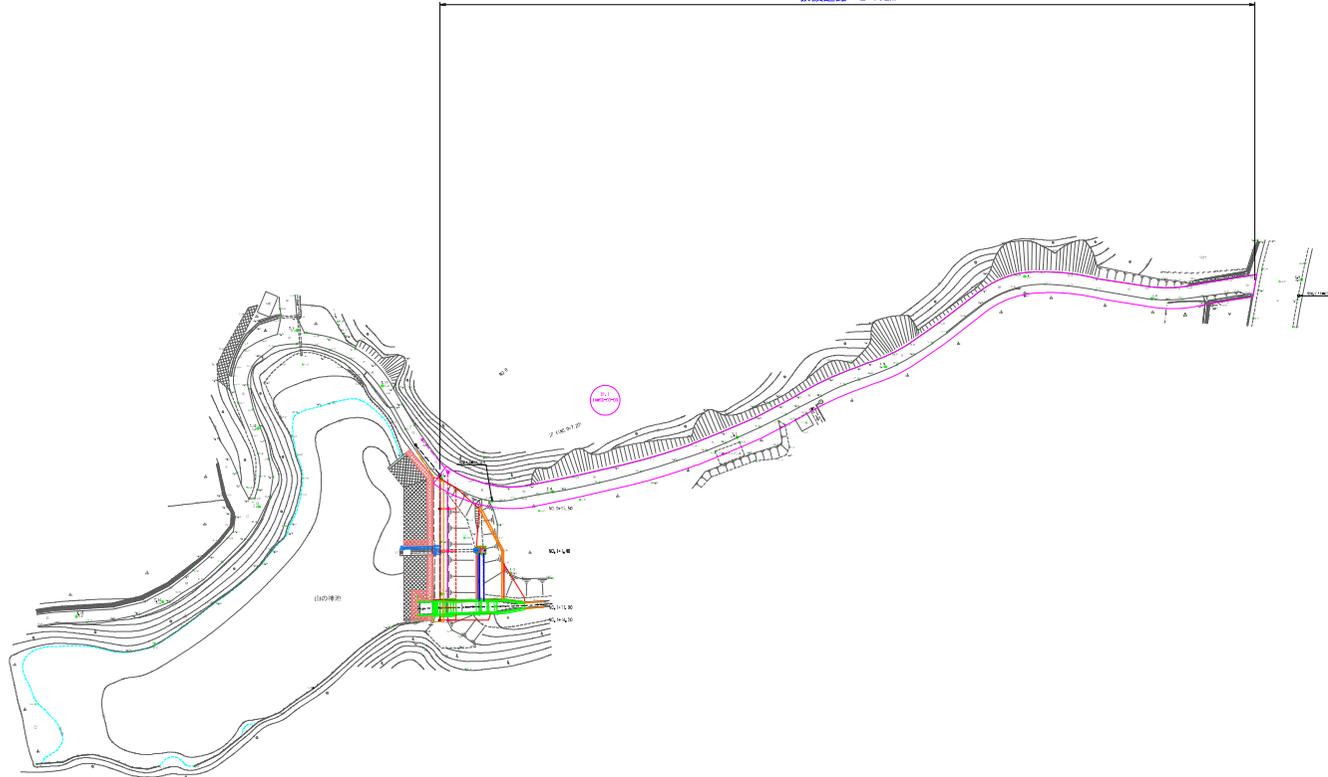
S=1 : 500 (A1)  
S=1 : 1000 (A3)



仮設道路 (現道拡幅区間)  
S=1:50  
(S=1:100)



仮設道路 L=162m



仮設道路 W=4.0m 100m当り

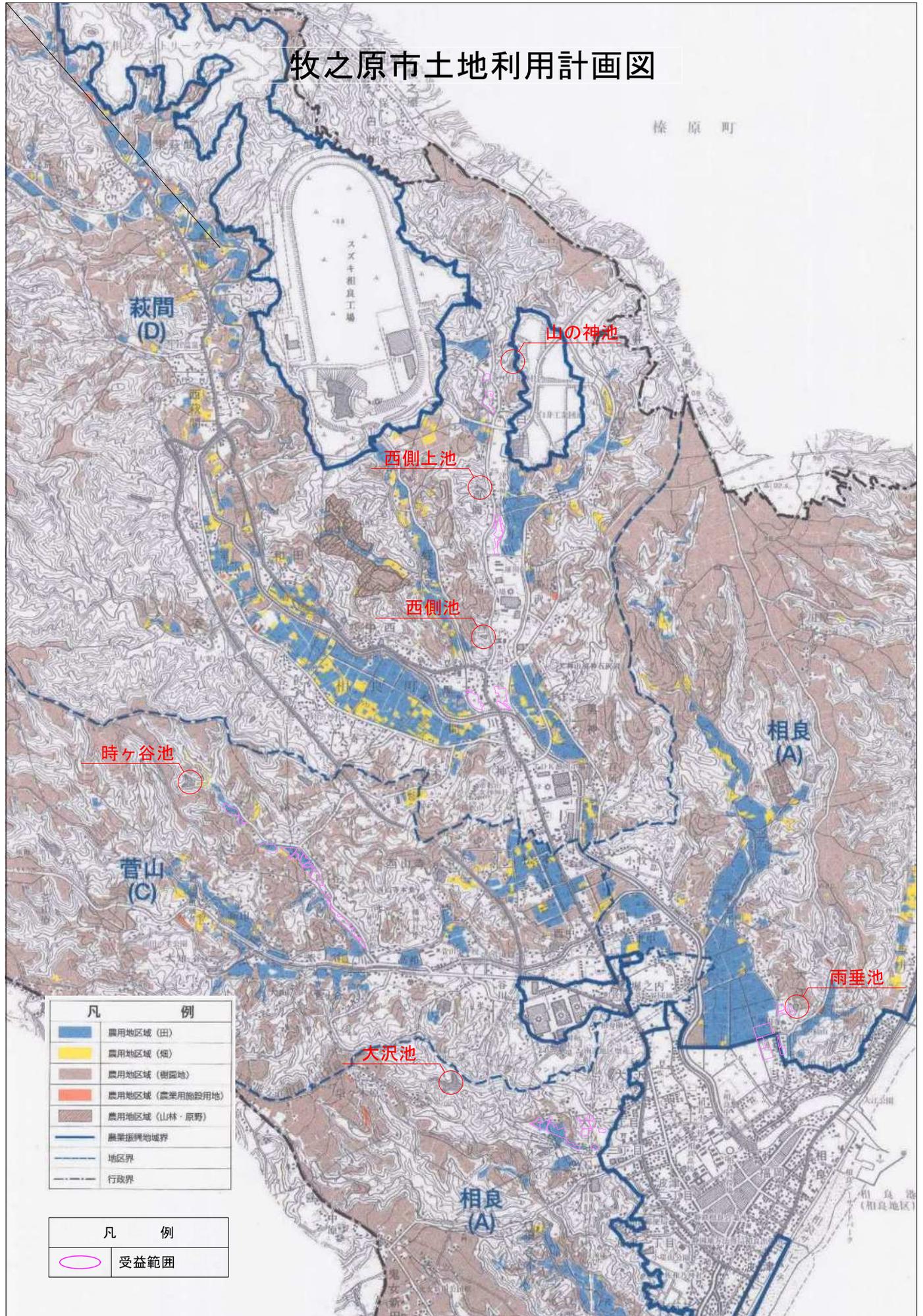
名称	規格	算定式	数量	単位	摘要
敷砂利	t=10cm	100 × 1.5	150	m <sup>2</sup>	
敷鉄板	1.5 × 3.0m t=2mm	100 ÷ 3.0 × 2	67	枚	
残土処理		150 × 0.1	15	m <sup>3</sup>	

令和 6 年度 震災対策農業水利施設整備事業  
(耐震性点検・調査計画) 静岡15期 (志太権原)  
地区測量設計委託その1

図面の名称		図面の番号
山の神池 仮設道路工		10
縮尺 (A1): 500 (A3): 1000		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	謄写	
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

# 牧之原市土地利用計画図

榛原町



凡	例
	農用地区域 (田)
	農用地区域 (畑)
	農用地区域 (樹園地)
	農用地区域 (農業用施設用地)
	農用地区域 (山林・原野)
	農業振興地域界
	地区界
	行政界

凡	例
	受益範囲